

平成 21 年度

尾鷲市水道事業  
要覧

# 目 次

I. 水道事業の沿革	
1. 尾鷲市のあゆみ	1
2. 水道事業の沿革	1
II. 機 構	
1. 機構図	2
2. 職員配置状況	2
3. 事務分掌	2
III. 配水・給水	
1. 事業別取水内訳	3
2. 上水道月別配水量	3
3. 給水状況の推移	4
4. 口径別給水件数	5
5. 口径別使用量	6
6. 使用量別集計	7
7. 年度別件数/使用量/使用料金の推移	8～9
8. 水道料金表	10
9. 水道料金分析表	11
10. 料金徴収方法別件数	11
11. 検針員及び徴収員の人数	11
12. 漏水事故発生件数	12
13. 給水加入状況	13
14. 管路延長	14～16
IV. 財務状況	
1. 損益計算書	17
2. 貸借対照表	18
3. 資本的収支	19
4. 費用構成表	20
5. 費用構成表【21年度】	21
6. 企業債の概要	22
V. 経営分析	
1. 資産及び資本構成比率	23
2. 回転率	24
3. 損益に関する比率	25
4. その他比率	26
5. 経営指標一覧表	27～33
VI. 施設概要	
1. 水源施設数	34
2. 各施設ポンプ能力	35
3. 電力使用量	36
4. 配水池・ポンプ井貯水能力一覧表	37
5. 施設住所	38
VII. 設備	
1. 上水道	39～45
2. 簡易水道	46～52

# I. 水道事業の沿革

## 1. 尾鷲市のあゆみ

尾鷲市は、三重県南部の東紀州地域の中央に位置し、市域は東西21km、南北19kmで、総面積は193.16km<sup>2</sup>を有している。

歴史的には、江戸時代に林業、漁業を中心に繁栄し、江戸や大阪へ回船が行き来し、昭和初期まで栄えてきた。

戦後、昭和29年に尾鷲町、須賀利村、九鬼村、北輪内村、南輪内村が合併して、現在の尾鷲市が誕生し、その後、日本の経済成長とともに、水力発電所建設に始まり、国鉄紀勢本線の全面開通、尾鷲三田火力発電所の建設、国道42号の大改修等のビッグプロジェクトを経て、人口や経済が進展し、本市の基盤を形成した。

しかし、わが国の高度成長期には、大都市に向かって若い人たちが流出し始め、過疎化・高齢化による漁業、林業の後継者不足が進み、産業の低迷を招くことになった。

一方、交通手段や情報通信技術は急速に進展し、人やものの動きが格段に広がり、様々な情報が簡単に得られるようになり、人々のニーズや価値観が多様化し、真の意味での「生活の豊かさ」「こころの豊かさ」が求められる時代が到来した。

このような中、本市においては、平成23年度を目標年度とした第5次尾鷲市総合計画『尾鷲市新生ビジョン』を策定し、将来の都市像を「海の碧 山の緑 あふれる情熱東紀州 おわせ」として、豊かな自然と歴史文化を共有する東紀州地域のなかで、「海」「山」にはぐくまれた資源を時代が求める「個性」への磨きなおし、「力強い、新しい産業」を起こす一方で、「心いやされるまち」になるために「尾鷲市新生」を目標にまちづくりに取り組んでいる。

## 2. 水道事業の沿革

尾鷲市には、現在、上水道事業の他に、須賀利簡易水道事業、九鬼簡易水道事業、早田簡易水道事業、三木浦簡易水道事業、三木里簡易水道事業、賀田・古江簡易水道事業、曾根簡易水道事業、梶賀簡易水道事業の8簡易水道事業が存在している。

上水道事業は、上水道認可を昭和35年3月に創設し、その後、国鉄紀勢本線の全線開通及び尾鷲第二水力発電所完成に伴い昭和36年12月、事業変更により計画給水人口20,000人、日最大給水量10,000m<sup>3</sup>/日となり、市勢の発展とともに需要水量も増加してきた。

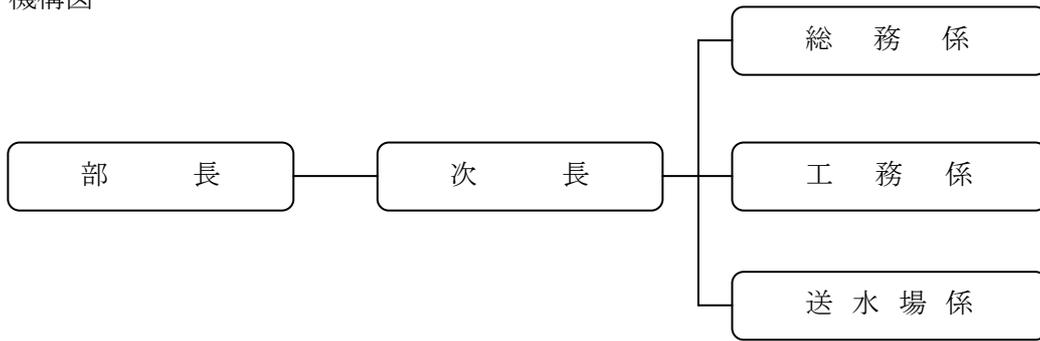
昭和53年3月に第1次拡張事業認可により、馬越簡易水道、大曾根簡易水道、行野簡易水道を上水道に統合し、計画給水人口26,000人、日最大給水量20,000m<sup>3</sup>/日とし、送配水施設の整備を行ってきた。

また、平成16年度より始まった矢ノ浜浄水場の更新事業が完了し、今後は各配水池の耐震化を計画する必要がある。

一方、各簡易水道事業等の現況をみると、各施設の老朽化があり、耐震も含めた計画的な更新が必要である。

## Ⅱ．機構

### 1. 機構図



### 2. 職員配置状況

所属	事務	技師	計
部長		1	1
次長兼係長	1		1
主幹兼係長		1	1
総務係	2		2
工務係		3	3
送水場係		2	2
計	3	7	10

### 3. 事務分掌

#### 総務係

- (1) 業務の総合調整に関する事。
- (2) 職員の身分取扱に関する事。
- (3) 予算、決算に関する事。
- (4) 出納その他の会計事務に関する事。
- (5) 契約に関する事。
- (6) 資産の管理に関する事。(ただし貯蔵品の管理を除く。)
- (7) 広報宣伝に関する事。
- (8) 文書及び公印の管理に関する事。
- (9) 業務統計に関する事。
- (10) 量水器の点検に関する事。
- (11) 水道料金の調定及び徴収に関する事。
- (12) その他の係の所掌に属しない事。

#### 工務係

- (1) 水道施設の企画設計及び工事施行に関する事。
- (2) 水道施設の維持管理に関する事。(ただし送水場及び加圧施設を除く。)
- (3) 給水装置に関する事。
- (4) 貯蔵品の管理に関する事。
- (5) その他水道施設に関する事。

#### 送水場係

- (1) 水道用水の浄水、送水並びに供給に関する事。
- (2) 給水記録の整理報告に関する事。
- (3) 送水場及び加圧施設に関する事。
- (4) その他送水施設に関する事。

### Ⅲ. 配水・給水

#### 1. 事業別取水内訳

施設名	取水方法	施設数	公称能力 (m <sup>3</sup> /日)	取水量(m <sup>3</sup> )	1日平均 取水量(m <sup>3</sup> )
上水道	伏流水	2	10,000	2,771,513	7,593
	浅井戸	6	10,000	933,842	2,558
上水道 計		8	20,000	3,705,355	10,152
須賀利簡易水道	浅井戸	2	297	51,984	142
九鬼簡易水道	表流水	1	495	85,407	234
早田簡易水道	表流水	1	81	30,614	84
三木浦簡易水道	表流水	2	326	127,964	351
三木里簡易水道	伏流水	1	643	130,354	357
賀田・古江簡易水道	浅井戸	2	1,000	321,946	882
曾根簡易水道	表流水	1	84	32,543	89
梶賀簡易水道	表流水	1	152	30,748	84
簡易水道 計		12	3,078	811,560	2,223
合計		20	23,078	4,516,915	12,375

#### 2. 上水道月別配水量

年 月	区分	配水量 (m <sup>3</sup> )	1日平均 配水量(m <sup>3</sup> )	1日最大 配水量(m <sup>3</sup> )
平成 18 年度		3,767,036	10,321	14,836
平成 19 年度		3,602,648	9,843	12,850
平成 20 年度		3,879,932	10,630	16,534
平成 21 年 4 月		317,695	10,590	14,294
平成 21 年 5 月		310,830	10,027	11,230
平成 21 年 6 月		314,385	10,480	12,112
平成 21 年 7 月		309,921	9,997	11,846
平成 21 年 8 月		328,103	10,584	13,138
平成 21 年 9 月		348,005	11,600	11,646
平成 21 年 10 月		320,672	10,344	14,622
平成 21 年 11 月		330,716	11,024	11,617
平成 21 年 12 月		311,406	10,045	11,924
平成 22 年 1 月		333,516	10,759	11,533
平成 22 年 2 月		332,545	11,877	11,978
平成 22 年 3 月		295,112	9,520	12,279
平成 21 年度 計		3,852,906	10,556	14,622
増加量		△27,026	△74	△1,912
増加率(%)		△0.70	△0.70	△11.56

### 3. 給水状況の推移

#### (1)年度別

項目 \ 年度	16	17	18	19	20	21
計画給水人口(人)	27,900	27,900	27,900	27,900	27,900	27,900
行政区域内人口(人)	23,266	22,965	22,538	22,143	21,707	21,348
給水人口(人)	23,244	22,930	22,502	22,109	21,675	21,319
水道普及率(%)	99.8	99.8	99.8	99.8	99.8	99.8
給水戸数(戸)	10,470	10,415	10,281	10,247	10,168	10,144
給水件数(件)	11,809	11,697	11,549	11,445	11,366	11,380
配水量(千m <sup>3</sup> /年)	5,215	4,937	4,682	4,528	4,819	4,665
有収水量(千m <sup>3</sup> /年)	4,053	3,808	3,660	3,721	3,470	3,370
有収率(%)	77.72	77.13	78.17	82.18	71.99	72.24
給水原価(円/m <sup>3</sup> )	114.36	119.89	124.48	121.70	146.51	146.09
供給単価(円/m <sup>3</sup> )	107.08	120.58	141.45	142.08	141.52	141.06
1日平均配水量(m <sup>3</sup> )	14,288	13,525	12,828	12,371	13,202	12,780
1日最大配水量(m <sup>3</sup> )	22,041	17,027	18,312	16,196	20,154	17,385

#### (2)平成21年度事業別

項目 \ 事業	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田古江	曾根	梶賀
計画給水人口(人)	17,500	1,000	2,200	270	1,160	1,670	2,500	700	900
行政区域内人口(人)	17,139	324	557	179	695	794	1,250	193	217
給水人口(人)	17,118	324	557	179	695	786	1,250	193	217
水道普及率(%)	99.9	100.0	100.0	100.0	100.0	99.0	100.0	100.0	100.0
給水戸数(戸)	7,884	189	318	96	337	428	655	116	121
給水件数(件)	8,622	242	423	126	404	468	829	133	133
配水量(千m <sup>3</sup> /年)	3,853	51	85	32	128	133	320	32	31
有収水量(千m <sup>3</sup> /年)	2,847	34	68	19	80	95	178	25	24
有収率(%)	73.89	66.67	80.00	59.38	62.50	71.43	55.63	78.12	77.42
給水原価(円/m <sup>3</sup> )	126.42	253.34							
供給単価(円/m <sup>3</sup> )	142.17	135.01							
1日平均配水量(m <sup>3</sup> )	10,556	140	233	87	350	364	877	89	84
1日最大配水量(m <sup>3</sup> )	14,622	202	275	137	444	475	1,005	116	109

#### 4. 口径別給水件数

##### (1) 年度別

口径 \ 年度	16	17	18	19	20	21
φ 13	10,583	10,471	10,359	10,268	10,160	10,169
φ 20	915	919	882	873	908	917
φ 25	157	156	153	147	142	145
φ 30	54	52	51	51	52	48
φ 40	54	54	57	59	56	55
φ 50	32	32	34	34	35	34
φ 75	9	9	9	9	9	9
φ 100	2	2	2	2	2	1
φ 150	1	1	1	1	1	1
φ 200	0	0	0	0	0	0
φ 250	1	1	1	1	1	1
合計	11,809	11,697	11,549	11,445	11,366	11,380

##### (2) 平成21年度事業別

口径 \ 事業	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田古江	曾根	梶賀
φ 13	7,565	232	398	121	382	442	778	125	126
φ 20	809	7	20	4	12	19	38	4	4
φ 25	119	3	2	1	6	2	7	3	2
φ 30	40	0	1	0	3	2	1	0	1
φ 40	46	0	2	0	1	2	3	1	0
φ 50	32	0	0	0	0	0	2	0	0
φ 75	8	0	0	0	0	1	0	0	0
φ 100	1	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 150	1	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 200	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 250	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8,622	242	423	126	404	468	829	133	133

5. 口径別使用量

(1) 年度別

[単位:千m<sup>3</sup>]

口径 \ 年度	16	17	18	19	20	21
φ 1 3	2,507	2,443	2,342	2,302	2,222	2,175
φ 2 0	319	308	293	284	278	292
φ 2 5	124	115	111	98	97	102
φ 3 0	102	91	78	79	77	80
φ 4 0	151	162	161	158	146	137
φ 5 0	184	187	215	242	279	247
φ 7 5	182	172	171	164	163	158
φ 1 0 0	6	6	5	5	6	4
φ 1 5 0	21	23	11	9	5	7
φ 2 0 0	0	0	0	0	0	0
φ 2 5 0	457	301	273	380	201	170
合計	4,053	3,808	3,660	3,721	3,474	3,372

(2) 平成21年度事業別

[単位:千m<sup>3</sup>]

事業 \ 口径	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田古江	曾根	梶賀
φ 1 3	1,751	32	59	18	71	72	134	18	19
φ 2 0	252	1	4	1	3	5	24	1	2
φ 2 5	78	0	1	0	3	13	2	3	2
φ 3 0	74	0	1	0	1	1	2	0	1
φ 4 0	122	0	3	0	2	1	5	3	0
φ 5 0	236	0	0	0	0	0	12	0	0
φ 7 5	155	0	0	0	0	3	0	0	0
φ 1 0 0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 1 5 0	7	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 2 0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 2 5 0	170	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,849	33	68	19	80	95	179	25	24

6. 使用量別集計

(1) 上水道

使用量区分	件数	使用量[m <sup>3</sup> ]	金額[円]
0 m <sup>3</sup> ～10 m <sup>3</sup>	2,787	858,298	30,815,393
11 m <sup>3</sup> ～20 m <sup>3</sup>	2,146	582,021	43,170,410
21 m <sup>3</sup> ～30 m <sup>3</sup>	1,831	337,059	67,139,107
31 m <sup>3</sup> ～50 m <sup>3</sup>	1,414	236,896	81,547,183
51 m <sup>3</sup> ～100 m <sup>3</sup>	318	127,306	36,517,355
101 m <sup>3</sup> ～500 m <sup>3</sup>	92	257,358	41,805,211
501 m <sup>3</sup> 以上	31	449,876	124,294,597
合計	8,619	2,848,814	425,289,256

(2) 簡易水道

使用量区分	件数	使用量[m <sup>3</sup> ]	金額[円]
0 m <sup>3</sup> ～10 m <sup>3</sup>	1,352	234,697	14,723,380
11 m <sup>3</sup> ～20 m <sup>3</sup>	741	128,545	14,444,368
21 m <sup>3</sup> ～30 m <sup>3</sup>	398	56,803	14,118,941
31 m <sup>3</sup> ～50 m <sup>3</sup>	224	34,678	12,972,843
51 m <sup>3</sup> ～100 m <sup>3</sup>	41	18,046	4,442,352
101 m <sup>3</sup> ～500 m <sup>3</sup>	15	40,844	7,144,136
501 m <sup>3</sup> 以上	4	9,097	6,274,358
合計	2,775	522,710	74,120,378

(3) 合計

使用量区分	件数	使用量[m <sup>3</sup> ]	金額[円]
0 m <sup>3</sup> ～10 m <sup>3</sup>	4,139	1,092,995	45,538,773
11 m <sup>3</sup> ～20 m <sup>3</sup>	2,887	710,566	57,614,778
21 m <sup>3</sup> ～30 m <sup>3</sup>	2,229	393,862	81,258,048
31 m <sup>3</sup> ～50 m <sup>3</sup>	1,638	271,574	94,520,026
51 m <sup>3</sup> ～100 m <sup>3</sup>	359	145,352	40,959,707
101 m <sup>3</sup> ～500 m <sup>3</sup>	107	298,202	48,949,347
501 m <sup>3</sup> 以上	35	458,973	130,568,955
合計	11,394	3,371,524	499,409,634

7. 年度別件数・使用量・使用料金の推移

(1) 上水道

[単位：件・m<sup>3</sup>・千円]

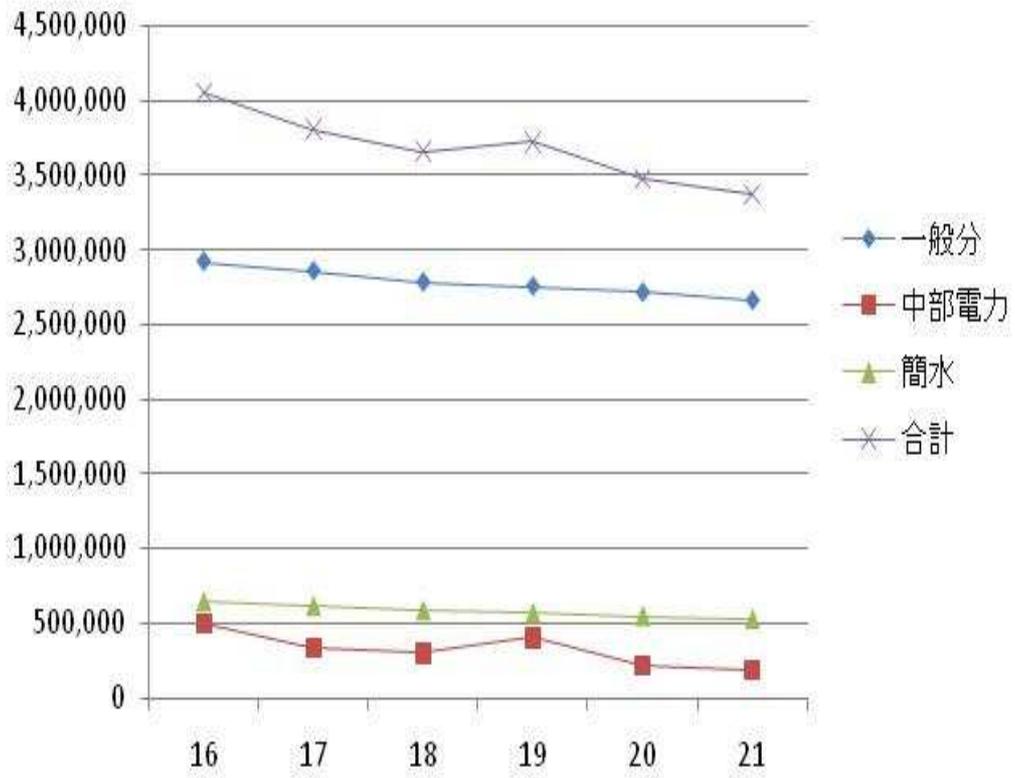
事業		年度	16	17	18	19	20	21
一般分	件数		105,280	105,253	104,382	103,675	103,316	103,373
	使用量		2,919,511	2,856,934	2,782,438	2,754,931	2,714,404	2,660,898
	使用料金		315,228	349,826	400,593	395,457	392,569	384,120
中部電力	件数		96	96	96	96	91	65
	使用量		492,304	338,016	296,936	402,316	217,166	187,916
	使用料金		72,793	59,296	61,386	80,530	46,900	41,169
合計	件数		105,376	105,349	104,478	103,771	103,407	103,438
	使用量		3,411,815	3,194,950	3,079,374	3,157,247	2,931,570	2,848,814
	使用料金		388,021	409,122	461,979	475,987	439,469	425,289

(2) 簡易水道

[単位：件・m<sup>3</sup>・千円]

事業		年度	16	17	18	19	20	21
須賀利	件数		3,252	3,138	3,027	3,009	2,963	2,908
	使用量		43,601	41,114	38,661	36,852	35,432	33,648
	使用料金		4,343	4,561	5,072	4,853	4,670	4,496
九鬼	件数		5,553	5,450	5,365	5,270	5,088	5,142
	使用量		90,943	86,965	81,991	78,189	75,107	68,030
	使用料金		9,621	10,407	11,716	11,239	10,867	9,816
早田	件数		1,589	1,554	1,552	1,562	1,540	1,506
	使用量		23,716	21,998	20,741	20,518	19,270	18,734
	使用料金		2,309	2,390	2,671	2,676	2,556	2,476
三木浦	件数		5,125	5,100	5,055	4,987	4,879	4,879
	使用量		100,461	94,481	90,958	87,647	81,398	79,655
	使用料金		9,995	10,612	12,124	11,695	10,771	10,509
三木里	件数		6,083	6,059	5,882	5,790	5,693	5,646
	使用量		113,814	110,675	97,897	94,059	92,580	95,106
	使用料金		12,378	13,499	13,961	13,331	13,165	13,691
古江 賀田	件数		11,151	10,943	10,622	10,339	10,109	10,016
	使用量		206,866	201,026	196,282	193,080	188,387	178,823
	使用料金		22,318	24,703	28,342	28,020	27,721	26,090
曾根	件数		1,821	1,723	1,650	1,662	1,632	1,595
	使用量		34,753	30,205	29,801	28,059	26,607	25,033
	使用料金		3,968	3,776	4,385	4,145	3,950	3,673
梶賀	件数		1,705	1,689	1,670	1,667	1,625	1,605
	使用量		27,315	26,383	24,464	25,437	24,434	23,681
	使用料金		2,789	3,032	3,350	3,532	3,394	3,370
合計	件数		36,279	35,656	34,823	34,286	33,529	33,297
	使用量		641,469	612,847	580,795	563,841	543,215	522,710
	使用料金		67,721	72,980	81,621	79,491	77,094	74,121

### 使用量の推移



## 8. 水道料金表

### (1) 水道加入金及び器具単価表

平成17年4月1日改正

口 径	量水器加入金		φ 13mm	φ 20mm
13 mm	52,500 円			
20 mm	94,500 円			
25 mm	157,500 円			
30 mm	231,000 円			
40 mm	420,000 円			
50 mm	682,500 円			
75 mm	1,470,000 円			
100 mm以上は市長がその都度定める				
設計審査及び工事検査手数料				
口 径	新 設	変更等工事		
13～20 mm	3,000 円	1,500 円		
25～40 mm	4,500 円	2,300 円		
50 mm	6,000 円	3,000 円		
			直結止水栓	3,310 円
			メーターボックス	3,150 円
			加入金	52,500 円
			直結止水栓	3,310 円
			メーターボックス	3,150 円
			設計審査および 工事検査手数料	3,000 円
			合計	61,960 円
				106,480 円

※ 公道止水栓ボックス 4,000 円

※上記価格は消費税込みの価格となります。

### (2) 水道料金一覧表

平成17年11月1日改正

用途	口 径	1ヶ月の基本料金 水量 10 m <sup>3</sup> まで	超 過 料 金 (1 m <sup>3</sup> につき)			備 考
			11～50 m <sup>3</sup>	51～100 m <sup>3</sup>	101 m <sup>3</sup> 以上	
一 般 用	13 mm	878.85 円	139.65 円	166.95 円	181.65 円	基本料金 + (超過水量) × (超過料金)    水道料金/月
	20 mm	1,033.20 円				
	25 mm	1,940.40 円				
	30 mm	2,959.95 円				
	40 mm	6,381.90 円				
	50 mm	14,034.30 円				
	75 mm	26,323.50 円				
	100 mm	51,334.50 円				
	150 mm	109,904.55 円				
	200 mm	222,462.45 円				
	250 mm	437,005.80 円				
臨 時	水量 1 m <sup>3</sup> まで		超 過 料 金 2 m <sup>3</sup> ～			※1 円未満の 端数は切捨て
	750.75 円		327.60 円 (1 m <sup>3</sup> につき)			
私設消火栓 (演習用) 1回 163.80 円 但し、1回5分間を超えることはできない。						

## 9.水道料金分析表

### (1) 上水道 [一般分]

年度	月1件当り使用水量	月1件当り水道料金	月1m <sup>3</sup> 当り水道料金
平成14年度	28.65 m <sup>3</sup>	3,092.70 円	107.953 円
平成15年度	28.05 m <sup>3</sup>	3,029.89 円	108.000 円
平成16年度	27.73 m <sup>3</sup>	2,994.19 円	107.973 円
平成17年度	27.14 m <sup>3</sup>	3,323.67 円	122.448 円
平成18年度	26.66 m <sup>3</sup>	3,837.76 円	143.972 円
平成19年度	26.57 m <sup>3</sup>	3,814.39 円	143.545 円
平成20年度	26.27 m <sup>3</sup>	3,799.69 円	144.620 円
平成21年度	25.74 m <sup>3</sup>	3,715.86 円	144.357 円

### (2) 簡易水道

年度	月1件当り使用水量	月1件当り水道料金	月1m <sup>3</sup> 当り水道料金
平成14年度	17.95 m <sup>3</sup>	1,877.36 円	104.596 円
平成15年度	17.53 m <sup>3</sup>	1,844.16 円	105.180 円
平成16年度	17.68 m <sup>3</sup>	1,866.67 円	105.572 円
平成17年度	17.19 m <sup>3</sup>	2,046.79 円	119.084 円
平成18年度	16.68 m <sup>3</sup>	2,343.88 円	140.533 円
平成19年度	16.45 m <sup>3</sup>	2,318.48 円	140.982 円
平成20年度	16.20 m <sup>3</sup>	2,291.71 円	141.452 円
平成21年度	15.70 m <sup>3</sup>	2,226.04 円	141.800 円

## 10. 料金徴収方法

	上水道		簡易水道		合計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
口座振替	6,632	76.92%	2,160	78.32%	8,792	77.26%
クレジット	155	1.80%	5	0.18%	160	1.41%
集金	863	10.01%	479	17.37%	1,342	11.79%
納付書	935	10.84%	80	2.90%	1,015	8.92%
その他	37	0.43%	34	1.23%	71	0.62%
合計	8,622	100.00%	2,758	100.00%	11,380	100.00%

## 11. 検針員及び徴収員の人数

地区名 業務	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	古江	賀田	曾根・梶賀	合計
	検針	1	0	0	0	0	0	0	0	0
徴収	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検針兼徴収	2	1	1	1	1	1	1	1	1	10
合計	3	1	1	1	1	1	1	1	1	11

1 2 . 漏水事故発生件数

業務	地区名	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	古江	賀田	曾根	梶賀	合計
平成 16 年度	本 管	38	6	3		4		1	1	1		54
	取 出	83	7	5		4	4	8	11	1	5	128
	送水管										3	3
	施 設								2	1		3
	合 計	121	13	8	0	8	4	9	14	3	8	188
平成 17 年度	本 管	21	3			1	2		4			31
	取 出	91	9	7	1	7	6	2	12	5	5	145
	送水管	2										2
	施 設	1										1
	合 計	115	12	7	1	8	8	2	16	5	5	179
平成 18 年度	本 管	33	5		1	2	1	2	2			46
	取 出	184	4	3	1	3	6	3	6	2	2	214
	送水管										3	3
	施 設			1								1
	合 計	217	9	4	2	5	7	5	8	2	5	264
平成 19 年度	本 管	15	5				4	1	3			28
	取 出	99	7	4	3	2	5	9	9		1	139
	送水管											0
	施 設											0
	合 計	114	12	4	3	2	9	10	12	0	1	167
平成 20 年度	本 管	17	5	0	1	2	1	1	2	2	0	31
	取 出	98	9	5	0	6	7	10	11	4	4	154
	送水管										3	3
	施 設											0
	合 計	115	14	5	1	8	8	11	13	6	7	188
平成 21 年度	本 管	39	4	0	0	5	2	0	1	0	1	52
	取 出	94	5	4	2	3	7	8	15	7	3	148
	送水管										1	1
	施 設											0
	合 計	133	9	4	2	8	9	8	16	7	5	201

本管：配水管本管・支管

取出：給水管・止水栓・量水器

13. 給水加入状況

(1) 年度別

[単位：件]

年度 口径	13	14	15	16	17	18	19	20	21
φ13	76	63	29	62	69	70	58	55	30
φ20	2	7	4	3	5	5	8	7	3
φ25	1	1	1	2	3	0	0	1	3
φ30	8	1	2	1	0	0	0	0	0
φ40	1	2	2	1	4	0	0	0	0
φ50	1	1	0	0	0	1	0	0	0
φ75	0	0	0	0	0	2	0	0	0
φ100	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	81	75	38	69	81	78	66	63	36

(2) 平成21年度事業別

[単位：件]

年度 口径	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田 古江	曾根	梶賀
φ13	28	0	0	0	0	0	2	0	0
φ20	2	0	0	0	0	0	0	1	0
φ25	3	0	0	0	0	0	0	0	0
φ30	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ40	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ50	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ75	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ100	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	33	0	0	0	0	0	2	1	0

口径変更

φ13→φ20	1	0	0	0	0	0	0	0	0
φ13→φ25	1	0	0	0	0	0	0	0	0
φ30→φ25	1	0	0	0	0	0	0	0	0

#### 14. 管路延長

##### (1) 上水道口径別延長

[単位：m]

口径		年度					
		16	17	18	19	20	21
導水管	300 mm未満	290	290	290	290	290	290
	300～500 mm未満	132	132	132	132	132	132
	500～1,000 mm未満	85	85	85	85	85	85
	計	507	507	507	507	507	507
送水管	300 mm未満	50	112	112	112	112	109
	300～500 mm未満	1,208	1,453	1,453	1,453	1,453	1,313
	計	1,258	1,565	1,565	1,565	1,565	1,422
配水管	50 mm以下	27,962	28,012	28,012	28,014	27,871	27,696
	75 mm	32,721	32,981	33,119	33,119	33,079	33,398
	100 mm	24,661	24,661	24,834	24,834	24,849	24,849
	125 mm	2,782	2,764	2,764	2,764	2,764	2,764
	150 mm	12,814	12,462	12,476	12,491	12,776	12,776
	200 mm	3,757	3,757	3,757	3,757	3,757	3,757
	250 mm	126	126	126	126	126	126
	300 mm	9,921	10,015	10,015	10,015	10,076	10,076
	350 mm	0	0	0	0	0	0
	400 mm	771	771	771	771	771	771
	450 mm	0	0	0	0	0	0
	500 mm	184	312	312	312	312	312
	700 mm	0	13	13	13	13	13
	計	115,699	115,874	116,199	116,216	116,394	116,538
合計		117,464	117,946	118,271	118,288	118,466	118,467

【導水管】 水源から浄水場までの配管

【送水管】 浄水場から配水池までの配管

【配水管】 配水池から各家庭までの配管

## (2) 上水道管種別延長

[単位：m]

管種		年度						
		16	17	18	19	20	21	
導水管	ダクタイル鋳鉄管	507	507	507	507	507	507	
	計	507	507	507	507	507	507	
送水管	ダクタイル鋳鉄管	959	1,202	1,202	1,202	1,202	1,059	
	鋼管	299	363	363	363	363	363	
	計	1,258	1,565	1,565	1,565	1,565	1,422	
配水管	本管	鋳鉄管	0	0	0	0	0	0
		ダクタイル鋳鉄管	15,790	15,999	16,005	16,005	16,066	16,066
		鋼管	2,138	2,138	2,138	2,127	2,142	2,043
		石綿セメント管	0	0	0	0	0	0
		硬質塩化ビニル管	13,558	13,558	14,198	14,209	14,311	14,554
		コンクリート管	0	0	0	0	0	0
		鉛管	0	0	0	0	0	0
		ポリエチレン管	250	250	250	250	250	250
		ステンレス管	84	110	110	127	127	127
		その他	0	0	0	0	0	0
		計	31,820	32,055	32,701	32,718	32,896	33,040
	支管	鋳鉄管	0	0	0	0	0	0
		ダクタイル鋳鉄管	8,211	8,211	8,211	8,211	8,211	8,211
		鋼管	3,527	3,480	3,480	3,480	3,480	3,480
		石綿セメント管	1,920	699	378	378	378	378
		硬質塩化ビニル管	69,316	70,513	70,513	70,513	70,513	70,513
		コンクリート管	0	0	0	0	0	0
		鉛管	0	0	0	0	0	0
		ポリエチレン管	905	905	905	905	905	905
		ステンレス管	0	11	11	11	11	11
		その他	0	0	0	0	0	0
計	83,879	83,819	83,498	83,498	83,498	83,498		
計	115,699	115,874	116,199	116,216	116,394	116,538		
合計		117,464	117,946	118,271	118,288	118,466	118,467	

## (3) 簡易水道管種別延長

[単位：m]

管種		地区							
		須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田古江	曾根	梶賀
導水管	ダクタイル鋳鉄管	0	0	0	0	0	0	0	0
	鋼管	0	28	33	0	0	0	400	25
	硬質塩化ビニル管	0	0	0	842	0	0	0	0
	ポリエチレン管	0	0	181	0	0	0	0	605
	計	0	28	214	842	0	0	400	630
送水管	鋳鉄管	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダクタイル鋳鉄管	0	1,113	0	3,187	519	0	0	0
	鋼管	0	125	0	0	0	300	0	0
	その他	0	738	0	0	0	0	0	0
	計	0	1,976	0	3,187	519	300	0	0
配水管	鋳鉄管	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダクタイル鋳鉄管	1,209	0	1,635	620	2,637	2,128	0	0
	鋼管	0	3,097	0	135	0	3,284	1,645	757
	石綿セメント管	0	0	0	0	0	0	0	0
	硬質塩化ビニル管	1,727	2,782	530	5,681	8,123	10,514	1,019	703
	コンクリート管	0	0	0	0	0	0	0	0
	鉛管	0	0	0	0	0	0	0	0
	ポリエチレン管	0	28	0	0	0	0	0	0
	ステンレス管	0	139	0	0	0	30	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2,936	6,046	2,165	6,436	10,760	15,956	2,664	1,460
合計	2,936	8,050	2,379	10,465	11,279	16,256	3,064	2,090	

## (4) 管種別延長合計

[単位：m]

管種	事業		
	上水道	簡易水道	合計
導水管	507	2,114	2,621
送水管	1,422	5,982	7,404
配水管	116,538	48,423	164,961
合計	118,467	56,519	174,986

## IV. 財務状況

### 1. 損益計算書

[単位：千円]

科目		平成 19 年度		平成 20 年度		平成 21 年度	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
収益	営業収益	530,871	96.57%	493,161	97.19%	477,246	97.22%
	給水収益	528,684	96.18%	490,834	96.74%	475,324	96.83%
	受託工事収益	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	他会計負担金	1,244	0.23%	1,327	0.26%	1,242	0.25%
	その他負担金	943	0.17%	1,000	0.20%	680	0.14%
	営業外収益	18,833	3.43%	14,233	2.81%	13,654	2.78%
	受取利息及び配当金	441	0.08%	726	0.14%	492	0.10%
	他会計補助金	10,196	1.85%	6,174	1.22%	5,896	1.20%
	その他雑収益	8,196	1.49%	7,333	1.45%	7,266	1.48%
	合計	549,704	100.00%	507,394	100.00%	490,900	100.00%
費用	営業費用	361,284	79.72%	425,383	83.53%	411,418	83.53%
	原水及び浄水費	80,099	17.67%	75,295	14.79%	72,611	14.79%
	配水及び給水費	55,824	12.32%	53,660	10.54%	52,101	10.54%
	受託給水工事費	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	業務費	38,839	8.57%	35,599	6.99%	38,206	6.99%
	総係費	34,781	7.67%	35,454	6.96%	34,886	6.96%
	減価償却費	149,552	33.00%	211,850	41.60%	211,101	41.60%
	資産減耗費	1,839	0.41%	13,081	2.57%	2,212	2.57%
	その他営業費用	350	0.08%	444	0.09%	301	0.09%
	営業外費用	91,933	20.28%	83,873	16.47%	81,126	16.47%
	支払利息	91,923	20.28%	83,872	16.47%	81,126	16.47%
	雑支出	10	0.00%	1	0.00%	0	0.00%
	合計	453,217	100.00%	509,256	100.00%	492,544	100.00%
	経常利益（損失）	96,487		△1,862		△1,644	
特別利益							
特別損失	344		687		238		
純利益（損失）	96,143		△2,549		△1,882		
前年度繰越利益剰余金	65,661		61,803		59,254		
当年度末処分利益剰余金	161,804		59,254		57,372		

## 2. 貸借対照表

[単位：千円]

科目	年度	平成 19 年度		平成 20 年度		平成 21 年度	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
資産 の 部	1. 固定資産	6,466,023	93.57%	6,334,623	93.08%	6,196,258	93.22%
	(1)有形固定資産	6,465,222	93.56%	6,333,822	93.07%	6,195,453	93.21%
	イ. 土地	806,773	11.67%	806,773	11.85%	806,773	12.14%
	ロ. 建物	576,016	8.34%	563,404	8.28%	551,190	8.29%
	ハ. 構築物	3,692,839	53.44%	3,615,641	53.13%	3,535,227	53.19%
	ニ. 機械及び装置	1,376,029	19.91%	1,321,353	19.42%	1,264,560	19.02%
	ホ. 車両運搬具	1,937	0.03%	3,233	0.05%	3,360	0.05%
	ヘ. 工具器具及び備品	11,628	0.17%	7,674	0.11%	5,315	0.08%
	ト. 建設仮勘定	0	0.00%	15,744	0.23%	29,028	0.44%
	(2)無形固定資産	740	0.01%	740	0.01%	740	0.01%
	イ. 電話加入権	740	0.01%	740	0.01%	740	0.01%
	(3)投資	61	0.00%	61	0.00%	61	0.00%
	イ. 投資その他資産	61	0.00%	61	0.00%	61	0.00%
	2. 流動資産	444,443	6.43%	471,171	6.92%	450,819	6.78%
	(1)現金預金	376,400	5.45%	452,125	6.64%	433,532	6.52%
(2)未収金	65,892	0.95%	17,976	0.26%	15,915	0.24%	
(3)貯蔵品	1,115	0.02%	1,029	0.02%	1,361	0.02%	
(4)その他流動資産	1,036	0.01%	41	0.00%	11	0.00%	
資産合計	6,910,466	100.00%	6,805,794	100.00%	6,647,077	100.00%	
負債 の 部	3. 固定負債	138,575	2.01%	143,083	2.10%	133,853	2.01%
	(1)引当金	138,575	2.01%	143,083	2.10%	133,853	2.01%
	イ. 修繕引当金	96,027	1.39%	100,534	1.48%	91,303	1.37%
	ロ. 退職給与引当金	42,548	0.62%	42,549	0.63%	42,550	0.64%
	4. 流動負債	13,373	0.19%	62,246	0.91%	33,225	0.50%
	(1)未払金	12,356	0.18%	56,747	0.83%	32,225	0.48%
(2)その他流動負債	1,017	0.01%	5,500	0.08%	1,000	0.02%	
負債合計	151,948	2.20%	205,329	3.02%	167,078	2.51%	
資本 の 部	5. 資本金	5,262,146	76.15%	5,104,001	74.99%	4,963,543	74.67%
	(1)自己資本金	1,160,617	16.80%	1,184,721	17.41%	1,184,721	17.82%
	(2)借入資本金	4,101,529	59.35%	3,919,280	57.59%	3,778,822	56.85%
	イ. 企業債	4,101,529	59.35%	3,919,280	57.59%	3,778,822	56.85%
	6. 剰余金	1,496,372	21.65%	1,496,463	21.99%	1,516,455	22.82%
	(1)資本剰余金	1,203,817	17.42%	1,230,562	18.08%	1,252,436	18.84%
	イ. 工事負担金	373,749	5.41%	377,359	5.54%	379,479	5.71%
	ロ. 国庫補助金	419,062	6.06%	414,568	6.09%	413,739	6.22%
	ハ. 他会計補助金	261,241	3.78%	284,570	4.18%	303,379	4.56%
	ニ. 受贈財産評価額	101,263	1.47%	101,263	1.49%	101,263	1.52%
	ホ. その他資本剰余金	48,502	0.70%	52,802	0.78%	54,576	0.82%
	(2)利益剰余金	292,555	4.23%	265,901	3.91%	264,019	3.98%
	イ. 減債積立金	102,211	1.48%	180,211	2.65%	180,211	2.71%
	ロ. 建設改良積立金	28,540	0.41%	26,436	0.39%	26,436	0.40%
	ハ. 当年度未処分利益剰余金	161,804	2.34%	59,254	0.87%	57,372	0.87%
資本合計	6,758,518	97.80%	6,600,464	96.98%	6,479,998	97.49%	
負債資本合計	6,910,466	100.00%	6,805,793	100.00%	6,647,076	100.00%	

## 3. 資本の収支

[単位：千円]

科目	年度	平成 19 年度		平成 20 年度		平成 21 年度	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
収入	出資金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	他会計出資金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	給水加入金	3,885	0.23%	3,791	9.15%	2,226	5.39%
	上水道給水加入金	3,633	0.22%	3,633	8.77%	2,027	4.91%
	簡易水道給水加入金	252	0.02%	158	0.38%	199	0.48%
	補助金	42,131	2.54%	23,328	56.32%	18,809	45.53%
	国県補助金	22,711	1.37%	0	0.00%	0	0.00%
	他会計補助金	19,420	1.17%	23,328	56.32%	18,809	45.53%
	負担金	1,239	0.07%	4,300	10.38%	1,775	4.30%
	他会計負担金	1,239	0.07%	4,300	10.38%	1,775	4.30%
	企業債	1,609,000	97.15%	10,000	24.14%	18,500	44.78%
	上水道企業債	1,497,500	90.41%	0	0.00%	0	0.00%
	簡易水道企業債	111,500	6.73%	10,000	24.14%	18,500	44.78%
	合計	1,656,255	100.00%	41,419	100.00%	41,310	100.00%
支出	建設改良費	1,388,480	73.60%	101,791	34.49%	77,933	32.90%
	固定資産購入費	11,656	0.62%	5,919	2.01%	3,418	1.44%
	機械装置費	6,482	0.34%	3,743	1.27%	2,238	0.94%
	車両運搬具費	969	0.05%	1,869	0.63%	997	0.42%
	工具器具備品費	4,205	0.22%	307	0.10%	183	0.08%
	上水道施設整備費	27,051	1.43%	53,042	17.97%	29,450	12.43%
	工事請負費	24,951	1.32%	36,511	12.37%	15,502	6.54%
	委託料	2,100	0.11%	16,531	5.60%	13,948	5.89%
	簡易水道施設整備費	34,397	1.82%	42,830	14.51%	45,065	19.03%
	工事請負費	33,504	1.78%	41,329	14.00%	42,986	18.15%
	委託料	893	0.05%	1,501	0.51%	2,079	0.88%
	矢浜浄水場更新事業	1,315,376	69.73%	0	0.00%	0	0.00%
	工事請負費	1,309,920	69.44%	0	0.00%	0	0.00%
	委託料	5,048	0.27%	0	0.00%	0	0.00%
	手数料	50	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	旅費	358	0.02%	0	0.00%	0	0.00%
	企業債償還金	497,965	26.40%	192,249	65.14%	158,958	67.10%
	上水道企業債償還金	363,340	19.26%	145,883	49.43%	121,884	51.45%
	簡易水道企業債償還金	134,625	7.14%	46,366	15.71%	37,074	15.65%
	補助金返還金	0	0.00%	1,081	0.37%	0	0.00%
	国庫補助金返還金	0	0.00%	1,081	0.37%	0	0.00%
合計	1,886,445	100.00%	295,121	100.00%	236,891	100.00%	
収入 - 支出		△ 230,190		△ 253,702		△ 195,581	
	当年度分 損益勘定保留資金	151,391	65.77%	224,931	88.66%	191,976	98.16%
	当年度分 消費税資本の収支調整額	65,931	28.64%	4,667	1.84%	3,605	1.84%
	減債積立金	10,000	4.34%	22,000	8.67%	0	0.00%
	建設改良積立金	2,868	1.25%	2,104	0.83%	0	0.00%
	合計	230,190	100.00%	253,702	100.00%	195,581	100.00%

4. 費用構成表【年度別】

[単位：千円]

項目	平成 19 年度		平成 20 年度		平成 21 年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
職員給与費	71,713	15.82%	68,731	13.50%	69,344	13.89%
(1) 基本給	39,791	8.78%	39,311	7.72%	39,943	8.00%
(2) 手当	19,558	4.32%	18,970	3.73%	17,792	3.56%
(3) 賃金	1,840	0.41%	0	0.00%	0	0.00%
(4) 退職給与費	1	0.00%	1	0.00%	1	0.00%
(5) 法定福利費	10,523	2.32%	10,449	2.05%	11,608	2.33%
支払利息	91,923	20.28%	83,872	16.47%	81,126	16.25%
(1) 一時借入金利息	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
(2) 企業債利息	91,923	20.28%	83,872	16.47%	81,126	16.25%
減価償却費	149,552	33.00%	211,850	41.60%	211,101	42.28%
動力費	38,330	8.46%	37,436	7.35%	34,708	6.95%
光熱水費	1,014	0.22%	640	0.13%	636	0.13%
通信運搬費	1,947	0.43%	4,685	0.92%	5,199	1.04%
修繕費	34,574	7.63%	25,452	5.00%	24,040	4.82%
材料費	6,677	1.47%	5,429	1.07%	9,506	1.90%
薬品費	1,512	0.33%	1,673	0.33%	2,161	0.43%
路面復旧費	1,828	0.40%	3,038	0.60%	507	0.10%
委託料	33,160	7.32%	39,455	7.75%	43,469	8.71%
その他	20,987	4.63%	26,995	5.30%	17,447	3.50%
合計	453,217	100.00%	509,256	100.00%	499,244	100.00%

## 5. 費用構成表【平成21年度】

[単位：千円]

		原水・浄水	配水・給水	業務	総係	その他	合計
基本給	給料	10,762	10,862	0	17,027	0	38,651
	扶養手当	450	738	0	104	0	1,292
手当	時間外手当	533	373	0	306	0	1,212
	特殊勤務手当	60	60	0	0	0	120
	管理職手当	0	0	0	545	0	545
	通勤手当	131	48	0	88	0	267
	住居手当	325	224	0	20	0	569
	期末勤勉手当	4,077	4,228	0	6,434	0	14,739
	児童手当	120	120	0	100	0	340
退職給与金		0	0	0	1	0	1
法定福利費		3,203	3,242	0	5,163	0	11,608
支払利息		0	0	0	0	81,126	81,126
減価償却費		0	0	0	0	211,101	211,101
動力費		29,098	5,610	0	0	0	34,708
光熱水費		322	314	0	0	0	636
通信運搬費		3,496	96	1,290	317	0	5,199
修繕費		6,000	15,000	2,900	140	0	24,040
材料費		0	9,506	0	0	0	9,506
薬品費		2,161	0	0	0	0	2,161
路面復旧費		0	507	0	0	0	507
委託料		8,595	2,383	30,972	1,519	0	43,469
その他	旅費	5	5	0	91	0	101
	被服費	0	0	0	36	0	36
	備消耗品費	1,020	335	1,483	390	0	3,228
	燃料費	314	155	87	102	0	658
	印刷製本費	14	0	197	97	0	308
	手数料	2,301	101	1,901	155	0	4,458
	賃借料	2,000	3	1,247	1,006	0	4,256
	広告料	0	0	0	31	0	31
	保険料	124	191	0	163	0	478
	食糧費	0	0	0	0	0	0
	公課費	34	17	0	38	0	89
	負担金	0	0	0	678	0	678
	工事請負費	0	0	0	0	0	0
	材料売却原価	0	0	0	0	301	301
	研修費	0	0	0	298	0	298
	報酬	0	0	0	238	0	238
固定資産除去費	0	0	0	0	2,289	2,289	
雑支出	0	0	0	0	0	0	
合計		75,146	54,118	40,077	35,087	294,817	499,244

## 6. 企業債の概要

### (1) 上水道

[単位：円]

借入先	件数	発行総額	構成比	未償還残高	構成比
財務省資金運用部	18	2,057,700,000	52.68%	1,815,764,371	53.97%
公営企業金融公庫	21	1,534,900,000	39.30%	1,398,541,753	41.57%
市中銀行	4	313,400,000	8.02%	149,860,000	4.46%
合計	45	3,906,000,000	100.00%	3,364,166,124	100.00%

### (2) 簡易水道

[単位：円]

借入先	件数	発行総額	構成比	未償還残高	構成比
財務省資金運用部	8	337,700,000	62.36%	218,766,240	52.76%
公営企業金融公庫	7	203,800,000	37.64%	195,889,479	47.24%
合計	15	541,500,000	100.00%	414,655,719	100.00%

### (3) 合計

[単位：円]

借入先	件数	発行総額	構成比	未償還残高	構成比
財務省資金運用部	26	2,395,400,000	53.86%	2,034,530,611	53.84%
公営企業金融公庫	28	1,738,700,000	39.09%	1,594,431,232	42.19%
市中銀行	4	313,400,000	7.05%	149,860,000	3.97%
合計	58	4,447,500,000	100.00%	3,778,821,843	100.00%

## V. 経営分析

### 1. 資産及び資本構成比率

項目	算式	18年度	19年度	20年度	21年度	備考
固定資産 構成比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延勘定}} \times 100$	93.92	93.57	93.08	$\frac{6,196,258}{6,196,258 + 450,819 + 0} \times 100 = 93.22$	総資産における固定資産の割合。固定資産の増大は、固定費の増加や資産の固定化をもたらすため、比率は低い方が望ましい。
固定負債 構成比率[%]	$\frac{\text{固定負債} + \text{借入資本金}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	55.31	61.36	59.69	$\frac{133,853 + 3,778,822}{6,647,077} \times 100 = 58.86$	総資本に対する長期負債の割合を表し、経営の長期的安全性を測る指標で、比率は低い方が望ましい。
自己資本 構成比率[%]	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	44.59	38.45	39.40	$\frac{1,184,721 + 1,516,455}{6,647,077} \times 100 = 40.64$	総資本に対する自己資本の割合を表す指標で、比率の高い方が経営の安全性は高いと言える。
固定資産対 長期資本比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債}} \times 100$	94.02	93.75	93.94	$\frac{6,196,258}{4,963,543 + 1,516,455 + 133,853} \times 100 = 93.69$	固定資産の調達に、自己資本と固定負債の範囲内で行われるべきであるため、比率は100以下であることが必要。
固定比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本金} + \text{剰余金}} \times 100$	210.64	243.36	236.26	$\frac{6,196,258}{1,184,721 + 1,516,455} \times 100 = 229.39$	固定資産が自己資本でどの程度賄われているかを示す指標で、比率が低いほど良く、高いと借入金での資金調達を示し財政的不安定を意味する。
流動比率[%]	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	6,049.00	3,323.44	756.95	$\frac{450,819}{33,225} \times 100 = 1,356.87$	短期債務に対する支払い能力を示す指標。比率は100以上必要で、資金量を示すことから高いほど良い。
酸性試験比率[%]	$\frac{\text{現金預金} + \text{未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$	6,003.94	3,307.35	755.23	$\frac{433,532 + 15,915}{33,225} \times 100 = 1,352.74$	流動資産の内現金預金及び現金化されるものによる支払い能力を見る。比率は100以上が適当。
現金比率[%]	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	5,628.78	2,814.63	726.35	$\frac{433,532}{33,225} \times 100 = 1,304.84$	支払い能力を表す指標。比率は100以上が望ましい。

2. 回転率

項目	算式	18年度	19年度	20年度	21年度	備考
自己資本 回転率[回]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本}+\text{期末自己資本})\times 1/2}$	0.21	0.21	0.18	$\frac{477,246 - 0}{(2,681,184 + 2,701,176) \times 1/2} = 0.18$	投下した自己資本に対し、どれだけの営業収益が生じているか、すなわち自己資本の活動率を示す。
固定資産 回転率[回]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産}+\text{期末固定資産})\times 1/2}$	0.10	0.09	0.08	$\frac{477,246 - 0}{(6,334,623 + 6,196,258) \times 1/2} = 0.08$	固定資産の利用度を示す数値で、高い値ほど固定資産が十分に活用されていることを示す。
流動資産 回転率[回]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首流動資産}+\text{期末流動資産})\times 1/2}$	1.60	1.35	1.08	$\frac{477,246 - 0}{(471,171 + 450,819) \times 1/2} = 1.04$	一般的には高い値ほど良好であるが、流動資産の過少から高くなるものには、注意が必要である。
未収金 回転率[回]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金}+\text{期末未収金})\times 1/2}$	23.91	12.18	11.76	$\frac{477,246 - 0}{(17,976 + 15,915) \times 1/2} = 28.16$	未収金の回収速度を示すもので、高い値ほど未収金が未回収のまま残留する期間が短いことを示している。
減価償却率[%]	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{有形固定資産}+\text{無形固定資産}-\text{土地}-\text{建設仮勘定}+\text{当年度減価償却費}} \times 100$	3.45	2.57	3.70	$\frac{211,101}{6,195,453 + 740 - 806,773 - 29,028 + 211,101} \times 100 = 3.79$	減価償却費が適当か否か及び統一的な償却方法がとられているか否かを示す比率で年度により極端に変動していれば検討を要する。

(注) 自己資本=自己資本金+剰余金

3. 損益に関する比率

項目	算式	18年度	19年度	20年度	21年度	備考
純資本利益率[%]	$\frac{\text{当年度経常利益}}{(\text{期首総資本} + \text{期末総資本}) \times 1/2} \times 100$	1.59	1.54	△ 0.03	$\frac{\triangle 1,862}{(6,910,466 + 6,600,464) \times 1/2} \times 100 = \triangle 0.02$	投下した資本に対する利益率で、大きい方が良い。
総収支比率[%]	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	118.84	121.20	99.50	$\frac{490,900}{492,783} \times 100 = 99.62$	全体的な経営収支状態を示す比率。 100以下は赤字。
経常収支比率[%]	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	119.08	121.29	99.63	$\frac{490,900}{492,545} \times 100 = 99.67$	経常的な経営収支状態を示す比率。 100以下は赤字。
営業収支比率[%]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$	145.15	146.94	115.93	$\frac{477,246 - 0}{411,419 - 0} \times 100 = 116.00$	主要事業での経営収支状態を示すもので、大きいほど良く100以下ならば原価に見合った収益確保の必要がある。
利子負担率[%]	$\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{\text{一時借入金} + \text{借入資本金}} \times 100$	3.18	2.24	2.14	$\frac{81,126 + 0}{0 + 3,778,822} \times 100 = 2.15$	負債に対する支払利息の比率、言い換えれば平均利率。
企業債償還元金 対減価償却額比率[%]	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$	122.98	332.97	90.75	$\frac{158,958}{211,101} \times 100 = 75.30$	企業債の発行が経営規模に比べ適正かどうかを示す指標。 100以下が望ましい。
企業債償還元金 対給水収益比率[%]	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{給水収益}} \times 100$	34.97	94.19	39.17	$\frac{158,958}{475,324} \times 100 = 33.44$	企業債発行額が事業規模に適正かを判断する基準で、低いほど良い。
企業債利息 対給水収益比率[%]	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{給水収益}} \times 100$	18.38	17.39	17.09	$\frac{81,126}{475,324} \times 100 = 17.07$	企業債発行額が事業規模に適正かを判断する基準で低いほど良い。
職員給与費 対給水収益比率[%]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{給水収益}} \times 100$	14.92	13.56	14.00	$\frac{69,332}{475,324} \times 100 = 14.59$	人的サービスの占める割合で、当然低い方が良い。 比率は30%前後が適当。

(注) 総資本＝負債・資本合計

4. その他比率

項目	算式	18年度	19年度	20年度	21年度	備考
有収率[%]	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	78.17	82.19	71.97	$\frac{3,369,566}{4,664,733} \times 100 = 72.23$	総配水量のうち、料金収入となった水量の割合。 高率ほど良い。
負荷率[%]	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$	70.05	96.27	73.51	$\frac{12,780}{17,385} \times 100 = 73.51$	施設が年間を通じて有効に使用されているかどうかを見る指標で、比率は大きいほど良い。
施設利用率[%]	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	55.59	53.61	57.21	$\frac{12,780}{23,078} \times 100 = 55.38$	施設が年間を通じて有効かつ適切に使用されているかどうかを見る指標で、比率は大きいほど良い。
最大稼働率[%]	$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	79.35	55.68	87.33	$\frac{17,385}{23,078} \times 100 = 75.33$	100%以上の時は配水能力が最大配水量に不足し、100%を大きく下回る場合は最大給水施設を有していることを示す。
配水管使用効率 [m <sup>3</sup> /m]	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{配水管総延長}}$	26.84	25.90	27.54	$\frac{4,664,733}{174,986} = 26.66$	導送配水管1m当たりの配水量を見て、その効率を測る。 量が多いほど使用効率が良い。
給水原価[円/m <sup>3</sup> ]	$\frac{\text{総費用} - \text{受託工事費} - \text{材料売却原価} - \text{不用品売却原価} - \text{特別損失}}{\text{年間総有収水量}}$	124.48	121.70	146.71	$\frac{492,782,521 - 0 - 301,030 - 0 - 238,031}{3,369,566} = 146.09$	1m <sup>3</sup> あたりの生産原価
供給単価[円/m <sup>3</sup> ]	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$	141.45	142.08	141.52	$\frac{475,324,065}{3,369,566} = 141.06$	1m <sup>3</sup> あたりの販売単価
職員一人当り 給水人口[人]	$\frac{\text{給水人口}}{\text{損益勘定職員数}}$	1,875	1,979	2,168	$\frac{21,319}{10} = 2,132$	職員数を他の事業体と単純に比較するのは難しいので、1人当たりの生産性により比較する。 数字は大きいほど生産性が高い。
職員一人当り 給水量[m <sup>3</sup> ]	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定職員数}}$	305,014	333,132	346,827	$\frac{3,369,566}{10} = 336,957$	
職員一人当り 営業収益[千円]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	43,653	47,526	49,316	$\frac{477,246 - 0}{10} = 47,725$	
職員一人当り 有形固定資産[千円]	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{損益勘定職員数} + \text{資本勘定職員数}}$	441,188	578,802	633,382	$\frac{6,195,453}{10 + 0} = 619,545$	

## 5. 経営指標一覧表

### (1)事業の概況

項目	算式	20年度			21年度
		全国平均	全国同規模	尾鷲市	
普及率[%] (対行政区域内人口)	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{行政区域内現在人口}} \times 100$	91.69	81.26	99.85	99.86
普及率[%] (対計画給水人口)	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{計画給水人口}} \times 100$	91.40	83.01	77.69	76.41
平均有収水量[l]	$\frac{\text{1日平均有収水量}}{\text{現在給水人口}}$	319	315	438	433
有収水量の用途別内訳[%] (家庭用)	$\frac{\text{1日平均有収水量}(\phi 25 \text{以下})}{\text{1日平均有収水量(合計)}} \times 100$	76.47	74.43	65.84	67.76
有収水量の用途別内訳[%] (工場用)	$\frac{\text{1日平均有収水量(電力)}}{\text{1日平均有収水量(合計)}} \times 100$	6.55	7.18	6.26	6.44
有収水量の用途別内訳[%] (その他)	$\frac{\text{1日平均有収水量(その他)}}{\text{1日平均有収水量(合計)}} \times 100$	16.98	18.40	27.90	28.72

### (2)収益性に関する項目

項目	算式	平成20年度			21年度	備考
		全国平均	全国同規模	尾鷲市		
総収支比率[%]	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	109.04	106.58	99.50	99.62	収益性をみる際の最も代表的な指標。
経常収支比率[%]	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$	109.15	106.83	99.63	99.67	いずれも100%を下回っており、損失が生じている。
営業収支比率[%]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$	117.97	115.76	115.93	116.00	収益性を見るための指標。比率が高いほど利益率がよい。
自己資本回転率[回]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本})/2}$	0.178	0.134	0.185	0.177	自己資本に対する営業収益の割合。比率が高いほど投下資本に比して営業活動が活発
総資本回転率[回]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首負債資本合計} + \text{期末負債資本合計})/2}$	0.109	0.083	0.072	0.071	総資本に対する営業収益の割合
固定資産回転率[回]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産})/2}$	0.121	0.094	0.077	0.076	固定資産に対する営業収益の割合。高いほど施設が有効に稼働している。
未収金回転率[回]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金})/2}$	7.766	6.432	11.760	28.16	未収金の回収速度を示す指標。高い程よい。
総資本利益率[%]	$\frac{\text{経常利益} - \text{経常損失}}{(\text{期首負債資本合計} + \text{期末負債資本合計})/2} \times 100$	0.97	0.57	△ 0.03	△ 0.02	総資本の収益性を表す指標。高い程総合的な収益性が高い。

※ 自己資本＝自己資本金＋剰余金

## (3)資産の状態に関する項目

項目	算式	平成20年度			21年度	備考
		全国平均	全国同規模	尾鷲市		
企業債償還元金 対減価償却費比率[%]	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{減価償却費}} \times 100$	100.42	95.11	90.75	75.30	投下資本の回収と再投資とのバランスを見る指標。
有形固定資産減価償却率[%]	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産帳簿原価}} \times 100$	37.42	34.27	29.49	31.49	償却資産における減価償却済の割合を示す比率
当年度減価償却率[%]	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{有形固定資産} + \text{無形固定資産} - \text{土地} - \text{建設仮勘定} + \text{当年度減価償却費}} \times 100$	3.37	3.06	3.70	3.79	償却対象固定資産に対する平均償却率である。

項目	算式	20年度			21年度	備考
		全国平均	全国同規模	尾鷲市		
有収水量1 m <sup>3</sup> 当たり						
有形固定資産[円]	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{年間総有収水量}}$	1,441.94	1,807.16	1,826.22	1,838.65	
無形固定資産[円]	$\frac{\text{無形固定資産}}{\text{年間総有収水量}}$	44.69	30.46	0.21	0.22	
資産合計[円]	$\frac{\text{資産合計}}{\text{年間総有収水量}}$	1,674.99	2,089.63	1,962.30	1,972.68	
負債合計[円]	$\frac{\text{負債合計}}{\text{年間総有収水量}}$	66.64	38.67	59.20	49.58	
資本合計[円]	$\frac{\text{資本合計}}{\text{年間総有収水量}}$	1,608.36	2,050.96	1,903.10	1,923.10	
借入資本金[円]	$\frac{\text{借入資本合計}}{\text{年間総有収水量}}$	564.93	738.69	1,130.04	1,121.46	
自己資本金[円]	$\frac{\text{自己資本金}}{\text{年間総有収水量}}$	410.66	444.14	341.59	351.59	
利益剰余金[円]	$\frac{\text{利益剰余金}}{\text{年間総有収水量}}$	48.98	88.70	76.67	78.35	
資本剰余金[円]	$\frac{\text{資本剰余金}}{\text{年間総有収水量}}$	583.79	779.43	354.81	371.69	
企業債現在高[円]	$\frac{\text{企業債}}{\text{年間総有収水量}}$	562.75	736.78	1,130.04	1,121.46	

## (4)財務比率に関する項目

項目	算式	20年度			21年度	備考
		全 国 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
流動比率[%]	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	440.68	847.22	756.95	1,352.86	短期債務に対する支払い能力を表している。 100%以上であることが必要
当座比率[%]	$\frac{\text{現金預金} + \text{未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$	379.11	808.39	755.23	1,352.73	短期債務に対する支払能力を表す比率。
流動資産回転率	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首流動資産} + \text{期末流動資産}) / 2}$	1.117	0.714	1.077	1.035	流動資産の経営活動における回転度を表す。
自己資本構成比率[%]	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	62.29	62.80	39.40	40.64	総資本に占める自己資本の割合。高いほど経営の安全性が高い。
固定資産構成比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延勘定}} \times 100$	90.34	88.39	93.08	93.22	資産合計中の固定資産の割合を表す。低い方が柔軟な経営が可能となる。
固定資産 対長期資本比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債} + \text{資本金} + \text{剰余金}} \times 100$	92.35	89.62	93.94	93.69	事業の固定的・長期的安全性をみる指標。
固定比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本金} + \text{剰余金}} \times 100$	145.02	140.75	236.26	229.39	自己資本がどの程度固定資産に投下されているかをみる指標。
固定負債構成比率[%]	$\frac{\text{固定負債} + \text{借入資本金}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	35.52	35.84	59.69	58.86	他人資本依存度を示す指標。

## (5)施設の効率性に関する項目

項目	算式	20年度			21年度	備考
		全 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
施設利用率[%]	$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{1日配水能力}} \times 100$	61.79	56.75	57.21	55.38	施設の利用状況を総合的に判断する為の指標。
最大稼働率[%]	$\frac{\text{1日最大配水量}}{\text{1日配水能力}} \times 100$	71.34	70.71	87.33	75.33	
負荷率[%]	$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{1日最大配水量}} \times 100$	86.61	80.26	65.51	73.51	施設が有効に使用されているかどうかをみる指標。 高いほど良い。
有収率[%]	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	89.91	83.89	71.97	72.23	施設の稼働状況がそのまま収益につながっているかについての比率。
固定資産使用効率[m <sup>3</sup> /万円]	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{有形固定資産}}$	7.71	6.60	7.61	7.53	有形固定資産に対する年間総配水量の割合。 高いほど施設が効率的である。
配水管 100 m <sup>3</sup> 当たり 給水人口[人]	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{配水管延長}}$	21.00	11.00	13.15	12.92	施設の有効性を示す指標。
配水管使用効率[m <sup>3</sup> /m]	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導送配水管延長}}$	25.52	14.47	27.54	26.66	施設の効率性を示す指標。

## (6)生産性に関する項目

項目	算式	20年度			21年度	備考
		全 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
職員1人あたり						
給水人口[人]	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{損益勘定職員数}}$	2,814	2,766	2,168	2,132	職員1人あたりの生産性について把握するための指標。大きいほど良い。
有収水量[m <sup>3</sup> ]	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定職員数}}$	328,187	317,912	346,827	336,957	
営業収益[千円]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	59,743	55,038	49,316	47,725	
給水収益[千円]	$\frac{\text{給水収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	56,870	53,385	49,083	47,532	
職員給与費 対営業収益比率[%]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}} \times 100$	15.75	13.56	13.94	14.53	
有収水量1万m <sup>3</sup> /1日当たり 損益勘定職員数[人]	$\frac{\text{損益勘定職員数}}{\text{有収水量}(1\text{万m}^3/\text{日})}$	11.00	11.00	10.00	11.00	

## (7)料金に関する項目

項目	算式	20年度			21年度	備考
		全 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
給水原価[円]	$\frac{\text{経常費用}-\text{受託工事費}-\text{付帯工事費}-\text{材料売却原価}}{\text{年間総有収水量}}$	174.52	172.37	146.71	146.09	1m <sup>3</sup> あたりの生産原価。
供給単価[円]	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$	173.38	167.93	141.52	141.06	1m <sup>3</sup> あたりの販売単価。
料金回収率[%]	$\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}} \times 100$	99.29	97.36	96.47	96.56	
1ヶ月10m <sup>3</sup> 当たり 家庭用料金[円]		1,473	1,530	878	878	φ13 消費税込み
1ヶ月20m <sup>3</sup> 当たり 家庭用料金[円]		3,060	3,143	2,275	2,275	φ13 消費税込み

## (8)費用に関する項目

項目	算式	20年度			21年度	備考
		全国平均	全国同規模	尾鷲市		
費用構成比						
職員給与費[%]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{費用合計}} \times 100$	16.42	13.61	13.50	14.08	
支払利息[%]	$\frac{\text{支払利息}}{\text{費用合計}} \times 100$	11.21	12.83	16.47	16.47	
減価償却費[%]	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{費用合計}} \times 100$	27.12	31.98	41.60	42.86	
動力費[%]	$\frac{\text{動力費}}{\text{費用合計}} \times 100$	3.11	4.84	7.35	6.71	
光熱水費[%]	$\frac{\text{光熱水費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.16	0.12	0.13	0.12	
通信運搬費[%]	$\frac{\text{通信運搬費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.49	0.53	0.92	1.01	
修繕費[%]	$\frac{\text{修繕費}}{\text{費用合計}} \times 100$	7.20	4.88	5.00	4.56	
材料費[%]	$\frac{\text{材料費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.37	0.38	1.07	1.86	
薬品費[%]	$\frac{\text{薬品費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.60	0.60	0.33	0.42	
路面復旧費[%]	$\frac{\text{路面復旧費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.39	0.17	0.60	0.10	
委託料[%]	$\frac{\text{委託料}}{\text{費用合計}} \times 100$	7.72	6.30	7.75	8.41	
受水費[%]	$\frac{\text{受水費}}{\text{費用合計}} \times 100$	17.60	17.50	0.00	0.00	
その他[%]	$\frac{\text{その他}}{\text{費用合計}} \times 100$	7.62	6.24	5.30	3.42	

項目	算式	20年度			21年度	備考
		全国平均	全国同規模	尾鷲市		
給水収益中						
職員給与費[%]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{給水収益}} \times 100$	16.54	13.98	14.00	14.59	給水収益と比較した場合の各費用の比率を示した指標。
企業債利息[%]	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{給水収益}} \times 100$	11.26	13.16	17.09	17.07	
減価償却費[%]	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{給水収益}} \times 100$	27.31	32.84	43.16	44.41	
企業債償還元金[%]	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{給水収益}} \times 100$	27.48	31.24	39.17	33.44	

項目	算式	20年度			21年度	備考
		全 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
有収水量1 m <sup>3</sup> 当たり						
職員給与費[円]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{年間総有収水量}}$	28.66	23.47	19.82	20.58	
基本給[円]	$\frac{\text{基本給}}{\text{年間総有収水量}}$	13.66	12.66	10.97	11.47	
手当[円]	$\frac{\text{手 当}}{\text{年間総有収水量}}$	7.57	6.30	5.83	5.66	
賃金[円]	$\frac{\text{賃 金}}{\text{年間総有収水量}}$	0.17	0.38	0.00	0.00	
退職給与費[円]	$\frac{\text{退職給与費}}{\text{年間総有収水量}}$	3.51	0.38	0.00	0.00	
法定福利費[円]	$\frac{\text{法定福利費}}{\text{年間総有収水量}}$	3.75	3.76	3.01	3.44	
支払利息[円]	$\frac{\text{支払利息}}{\text{年間総有収水量}}$	19.56	22.13	24.18	24.08	
減価償却費[円]	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{年間総有収水量}}$	47.33	55.15	61.08	62.65	
動力費[円]	$\frac{\text{動 力 費}}{\text{年間総有収水量}}$	5.42	8.35	10.79	9.81	
光熱水費[円]	$\frac{\text{光 熱 水 費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.28	0.22	0.18	0.18	
通信運搬費[円]	$\frac{\text{通信運搬費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.85	0.92	1.35	1.47	
修繕費[円]	$\frac{\text{修 繕 費}}{\text{年間総有収水量}}$	12.57	8.42	7.34	6.66	
材料費[円]	$\frac{\text{材 料 費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.64	0.66	1.57	2.72	
薬品費[円]	$\frac{\text{薬 品 費}}{\text{年間総有収水量}}$	1.04	0.04	0.48	0.61	
路面復旧費[円]	$\frac{\text{路面復旧費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.69	0.30	0.88	0.14	
委託料[円]	$\frac{\text{委 託 料}}{\text{年間総有収水量}}$	13.47	10.86	11.38	12.29	
受水費[円]	$\frac{\text{受 水 費}}{\text{年間総有収水量}}$	30.71	30.19	0.00	0.00	
その他[円]	$\frac{\text{そ の 他}}{\text{年間総有収水量}}$	13.31	10.76	7.78	4.99	
費用合計[円]	$\frac{\text{費 用 合 計}}{\text{年間総有収水量}}$	174.52	172.47	146.83	146.17	
資本費[円]	$\frac{\text{企業債利息+減価償却費}}{\text{年間総有収水量}}$	86.02	96.16	85.27	86.73	
利子負担率[%]	$\frac{\text{支 払 利 息}}{\text{企業債+一時借入金+借入資本金}}$	3.47	2.99	0.02	0.02	外部利子の平均利率を示す

(9)繰入金の状況に関する項目

項目	算式	20年度			21年度	備考
		全 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
繰入金比率[%] (収益的収入分)	$\frac{\text{繰入金(収益的収入分)}}{\text{総 収 益}} \times 100$	2.06	4.71	1.48	1.45	収入における繰入金依存度を分析する比率。
繰入金比率[%] (資本的収入分)	$\frac{\text{繰入金(資本的収入分)}}{\text{資 本 的 収 入 計}} \times 100$	7.85	11.67	67.00	49.96	

## VI. 施設概要

### 1. 水源施設数

(1)水源施設（送水・消毒設備 11 箇所）

矢ノ浜・須賀利・九鬼・早田・三木浦第1・三木浦第2・三木里・賀田第1(北)・  
賀田第1(南)・曾根・梶賀

(2)取水施設

水源名		取水施設名	箇所数	
上水道	矢ノ浜	地下水(浅井戸) 1号井・2号井・3号井・4号井・5号井・6号井	6	
		矢ノ川伏流水 1号井・2号井	2	
簡易水道	須賀利	地下水(浅井戸) 1号井・2号井	2	
	九鬼	滝ノ頭川表流水	1	
	早田	大川表流水	1	
	三木浦	第1	三木谷川表流水	1
		第2	浦越川表流水	1
	三木里	八十川伏流水 1号井	1	
	賀田第1	北	地下水(浅井戸) 1号井	1
		南	地下水(浅井戸) 1号井	1
	曾根	逢神川表流水	1	
梶賀	梶賀川表流水	1		
合計			19	

## 2. 各施設ポンプ能力(58台)

区分	施設名	用途	口径φ (mm)	毎分流量 (m <sup>3</sup> /min)	24時間流量 1日最大(m <sup>3</sup> )	全揚程 (m)	出力 (kW)	台数 (台)
上水道	矢ノ浜浄水場	送水	250	7.20	10,368	70.0	132.0	2
		配水	200	5.60	8,064	59.0	90.0	3
		取水	200	5.00	7,200	20.0	30.0	2
		取水	250	7.50	10,800	20.0	45.0	2
		取水	80	0.50	720	20.0	5.5	1
		取水	80	0.84	1,210	42.5	5.5	1
		取水	125	1.25	1,800	42.5	11.0	1
		取水	80	0.50	720	20.0	5.5	1
		取水	100	1.60	2,304	25.0	11.0	1
		取水	80	0.50	720	26.0	5.5	1
		ろ過	200	5.00	7,200	18.0	30.0	1
	桂山配水池	送水	150	1.80	2,592	30.0	18.5	2
	馬越 送水ポンプ場	送水	80	0.40	576	112.0	18.5	2
	泉台 加圧ポンプ場	配水	100	0.80	1,152	67.0	18.5	2
	光ヶ丘 送水ポンプ場	送水	100	1.10	1,584	5.5	18.5	2
	向井 加圧ポンプ場	配水	80	0.50	720	65.0	11.0	2
大曾根浄水場	配水	80	0.50	720	43.0	7.5	2	
簡易水道	須賀利浄水場	配水	65	0.80	1,152	72.0	15.0	2
		取水	50	0.38	540	15.0	1.5	4
	三木浦第1 浄水場	送水	80	1.10	1,584	47.0	15.0	2
	三木浦第2 浄水場	送水	50	0.32	454	72.0	7.5	2
		逆洗	100	1.10	1,584	19.5	5.5	2
	三木里浄水場	送水	80	0.45	648	75.0	15.0	2
		取水	80	0.50	720	10.0	5.5	2
	賀田第1(北) 浄水場	送水	100	1.00	1,440	60.0	18.5	2
	賀田第1(南) 浄水場	送水	80	0.50	720	87.0	15.0	2
		取水	80	1.50	2,160	13.0	5.5	2
		逆洗	150	2.70	3,888	17.0	11.0	2
	賀田第2 加圧ポンプ場	配水	100	0.97	1,397	60.0	18.5	2
古江加圧 ポンプ場	配水	80	0.70	1,008	63.0	15.0	2	
曾根 加圧ポンプ場	配水	40	0.22	317	—	2.2	1	

3. 電力使用量【矢ノ浜浄水場：年度別】[単位:kWh]

年度 月	16	17	18	19	20	21
4月	200,700	176,940	162,624	152,160	132,448	123,324
5月	203,136	178,752	166,848	155,940	123,096	126,120
6月	202,980	174,084	168,624	147,180	131,484	125,808
7月	170,880	179,568	177,732	152,580	162,372	135,456
8月	158,496	184,884	180,384	174,456	166,884	142,452
9月	151,116	165,216	149,652	152,952	137,556	131,940
10月	199,332	169,116	146,436	153,924	135,312	132,588
11月	190,824	171,876	145,500	164,388	121,080	121,992
12月	206,088	189,900	156,252	170,412	130,032	57,696
1月	207,492	183,180	153,648	167,232	128,736	132,084
2月	186,084	161,244	141,636	134,028	112,428	135,228
3月	205,260	171,312	156,492	137,280	124,188	116,796
合計	2,282,388	2,106,072	1,905,828	1,862,532	1,605,616	1,481,484

4. 配水池・ポンプ井貯水能力一覧表

区分	施設名	名称	容量[m <sup>3</sup> ]
上水道	矢ノ浜浄水場	配水池 1 号	3,322
		配水池 2 号	2,512
	桂山配水池	低区配水池	2,800
		高区配水池	452
	泉台加圧ポンプ場	ポンプ井	140
	光ヶ丘送水ポンプ場	ポンプ井	58
	光ヶ丘配水池	配水池	1,000
	馬越送水ポンプ場	ポンプ井	122
	馬越配水池	配水池	107
	向井加圧ポンプ場	ポンプ井	102
	大曾根浄水場	ポンプ井	162
簡易水道	須賀利浄水場	ポンプ井	303
	九鬼配水池	配水池	279
	早田浄水場	配水池	64
	三木浦第 1 浄水場	ポンプ井	82
	三木浦第 2 浄水場	ポンプ井	82
	三木浦配水池	配水池	450
	三木里浄水場	ポンプ井	104
	三木里配水池	配水池	375
	賀田配水池	配水池	246
	賀田第 1(北)浄水場		
	賀田第 1(南)浄水場	ポンプ井	65
	賀田第 2 加圧ポンプ場	ポンプ井	350
	古江加圧ポンプ場	ポンプ井	216
	曾根配水池	配水池	100
	曾根加圧ポンプ場		
	梶賀配水池	配水池	39

5. 施設所在地

施設名	所在地
矢ノ浜浄水場	尾鷲市矢浜四丁目 4 番 8 号
桂山配水池	尾鷲市南浦矢ノ浜上ノ山 1917-32
馬越送水ポンプ場	尾鷲市北浦西町 1508
馬越配水池	尾鷲市馬越町 3838
泉加圧ポンプ場	尾鷲市古戸野町 4-18
光ヶ丘送水ポンプ場	尾鷲市光ヶ丘 13-31
光ヶ丘配水池	尾鷲市大字南浦 1836-2
向井加圧ポンプ場	尾鷲市大字向井 195-4、195-5
大曾根浄水場	尾鷲市大字大曾根浦 142-42
須賀利浄水場	尾鷲市須賀利町 505-1
九鬼配水池	尾鷲市九鬼町 305
早田浄水場	尾鷲市早田町 252-1
三木浦第 1 浄水場	尾鷲市三木浦町 53
三木浦第 2 浄水場	尾鷲市早田町 351-6
三木浦配水池	尾鷲市三木浦町 303-20
三木里浄水場	尾鷲市三木里町 1123
三木里配水池	尾鷲市三木里町 902-3
賀田第 1(北)浄水場	尾鷲市賀田町 972-180
賀田第 1(南)浄水場	尾鷲市賀田町 970-3
賀田第 2 加圧ポンプ場	尾鷲市賀田町 318-36
古江加圧ポンプ場	尾鷲市古江町 670-21
賀田配水池	尾鷲市賀田町 1008-2
曾根配水池	尾鷲市曾根町 376-3
曾根加圧ポンプ場	尾鷲市曾根町 520-2
梶賀配水池	尾鷲市梶賀町寺ノ上 149

## VII. 設 備

### 1. 上水道

#### (1) 矢ノ浜浄水場

##### 【No.1】

公 称 能 力	20,000 m <sup>3</sup> /日		
経 歴	昭和 41 年竣工 平成 19 年度 新矢ノ浜浄水場造成		
配 水 池	1 号配水池 PC 造り(鉄筋コンクリート造) 内径φ 23.0m×有効 8.0m Ve=3,322 m <sup>3</sup>		1 池
	2 号配水池 PC 造り(鉄筋コンクリート造) 内径φ 20.0m×有効 8.0m Ve=2,512 m <sup>3</sup>		1 池
送 水 ホ ン プ	送水ポンプ 両吸込渦巻ポンプ (内予備 1 台) φ 250mm×φ 150mm×7.2 m <sup>3</sup> /min×70m×132kw		2 台
	配水ポンプ 両吸込渦巻ポンプ (内予備 2 台) φ 200mm×φ 150mm×5.6 m <sup>3</sup> /min×59m×90kw		3 台
取 水 ホ ン プ	伏流水 1 号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 200mm×5.0 m <sup>3</sup> /min×20m×30kw		2 台
	伏流水 2 号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 250mm×7.5 m <sup>3</sup> /min×20m×45kw		2 台
	浅井戸 1 号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 80mm×0.5 m <sup>3</sup> /min×20m×5.5kw		1 台
	浅井戸 2 号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 80mm×0.84 m <sup>3</sup> /min×42.5m×5.5kw		1 台
	浅井戸 3 号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 125mm×1.25 m <sup>3</sup> /min×42.5m×11kw		1 台
	浅井戸 4 号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 80mm×0.5 m <sup>3</sup> /min×20m×5.5kw		1 台
	浅井戸 5 号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 100mm×1.6 m <sup>3</sup> /min×25m×11kw		1 台
	浅井戸 6 号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 80mm×0.5 m <sup>3</sup> /min×26m×5.5kw		1 台
ろ 過 ホ ン プ	ろ過機水中ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 200mm×5.0 m <sup>3</sup> /min×18m×30kw		1 台
消 毒 設 備	薬 注 ホ ン プ	定量比例注入ポンプ 1・2 号 0.6~17ml/min 1.0MPa	2 台
		定量比例注入ポンプ 3 号 (内予備 1 台) 1.7~51ml/min 1.0MPa	2 台
		定量比例注入ポンプ 4 号 (内予備 1 台) 3.4~102ml/min 0.7MPa	2 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 φ 1.3m H=1.62m 素材 ポリエチレン Ve=1.5 m <sup>3</sup>		2 台

【No.2】

ホ <sup>。</sup> ソフ <sup>。</sup> 井 (着水井)	伏流水1号井 楕円形 RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内径φ8.0m×H9.0m		1井	
	伏流水2号井 長方形 RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.0m×L12.5m×H7.0m		1井	
	浅井戸1号井 SPφ600mm×H15m		1井	
	浅井戸2号井 SPφ400mm×H15m		1井	
	浅井戸3号井 SPφ400mm×H15m		1井	
	浅井戸4号井 SPφ600mm×H15m		1井	
	浅井戸5号井 SPφ400mm×H15m		1井	
	浅井戸6号井 SPφ600mm×H15m		1井	
集水管	集水埋管伏流水1号 有孔 HPφ700mm~L=150m		1式	
	集水埋管伏流水2号 有孔 HPφ1,500mm~L=243m		1式	
ホ <sup>。</sup> ソフ <sup>。</sup> 井 (ろ過)	ろ過ホ <sup>。</sup> ソフ <sup>。</sup> 井 RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W4.0m×L5.0m×深さ4.0m		1井	
契約電力	高压電力 B 515A・kw 力率97%			
受変電設備	高压変圧器 6.6kv/420 500kVA		2台	
ろ過器	ろ過器 急速ろ過器 動式密閉型 1池当り4分割 ろ過速度120m/日		1台	
電気計装設備	流量計	1・4号井取水流量計 φ300mm 0~450 m <sup>3</sup> /h 水中型電磁式	1台	
		2・3・5・6号井取水流量計 φ300mm 0~450 m <sup>3</sup> /h 水中型電磁式	1台	
		伏流水1号井取水流量計 φ400mm 0~1,000 m <sup>3</sup> /h 超音波式	1台	
		伏流水2号井取水流量計 φ500mm 0~1,000 m <sup>3</sup> /h 水中型超音波式	1台	
		送水流量計 φ250mm 0~800 m <sup>3</sup> /h 電磁式	1台	
		配水流量計 φ300mm 0~800 m <sup>3</sup> /h 電磁式	1台	
	水位計	投込式	0~10m 配水池用	2台
			浅井戸用	4台
	自動通報装置付中央監視装置			1台
	テレメーター親局			1式
自家発電設備	ガスタービン式発電機 発電機 3φ3w 500kVA 6600V 4極 ガスタービン 単純開放サクル1軸式 441kw		1台	
	燃料タンク A重油1種1号 1500ℓ		1台	
	地下タンク A重油1種1号 7000ℓ		1台	

## (2)桂山配水池

公称能力	2,592 m <sup>3</sup> /日	
経歴	昭和41年 竣工 平成16年度 送水ポンプ取替工事 平成19年度 緊急遮断弁設置工事	
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W4.0m×L4.8m=19 m <sup>2</sup>	1室
送水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ150×1.8 m <sup>3</sup> /min×30m×18.5kw 1,800rpm (内予備1台)	2台
ポンプ井	桂山低区配水池 RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W17.5m×L20m×有効4.0m=1,400 m <sup>3</sup> Ve=1,400 m <sup>3</sup> ×2池=2,800 m <sup>3</sup>	2池
	桂山高区配水池 RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W12.3m×L4.0m×有効4.6m=226 m <sup>3</sup> Ve=226 m <sup>3</sup> ×2池=452 m <sup>3</sup>	2池
契約電力	低圧電力 21A・kw 力率80% 従量電灯 B 60A・kw	
電気設備	水位計 投込式液面発信器 0~5m	1台
	無停電電源装置	1台
	直流電源装置	1台
	緊急遮断弁 マーキング型緊急遮断弁ウェット式 油圧分離型 [震度・流量併用感知方式] 内面エポキシ樹脂粉体塗装 φ300 バタフライ式 弁箱肉厚13mm φ150 バタフライ式 弁箱肉厚15mm	1台 1台
	地震監視装置 (地震ウォッチャー) 型式: SW-74	1台
	テレメータ SAS55 子局	1台
エンジン	ディーゼルエンジン 4サイクル水冷式	1台
	燃料タンク 90ℓ	1台

## (3)馬越送水ポンプ場

公称能力	576 m <sup>3</sup> /日	
経歴	平成12年度 送水・配水池機械電気設備	
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W4.15m×L4.0m=16.6 m <sup>2</sup>	1室
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ (フライホイールカップリング付) φ80×0.4 m <sup>3</sup> /min×112m×18.5kw 1,800rpm (内予備1台)	2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W4.0m×L5.0m×有効3.5m Ve=70 m <sup>3</sup> 内法 W3.0m×L5.0m×有効3.5m Ve=52.5 m <sup>3</sup>	1池 1池
契約電力	低圧電力 26A・kw 力率90% 従量電灯 B 15A・kw	
電気設備	水位指示警報計 配水池水位計 0~3m DC1~5v	1台
	積算カウンター 配水池流量 8桁	1台
	2ペン記録計 水位・配水量	1台
	自動通報装置	1台
	直流電源装置	1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 14.5ml/min 1.0MPa ストローク数 23s.p.m	1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン φ500mm H=770mm Ve=100ℓ	1台
自家発電設備	ディーゼルエンジン 4サイクル水冷式	1台
	燃料タンク 30ℓ	1台

## (4)馬越配水池

公称能力	貯水量 107 m <sup>3</sup>	
経歴	平成12年度 馬越配水池改良工事	
配水池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.2×L3.5×有効3.0=65.1 m <sup>3</sup> 内法 W6.2×L3.5×有効1.9=42.23 m <sup>3</sup> Ve=65.1 m <sup>3</sup> +42.23 m <sup>3</sup> =107.3 m <sup>3</sup>	1池 1池

## (5) 泉台加圧ポンプ場

公称能力	1,152 m <sup>3</sup> /日		
経歴	昭和 50 年度 竣工		
ポンプ室	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W10.6m×L8.6m=90 m <sup>2</sup>	1 室	
加圧ポンプ	多段渦巻ポンプ (フライホイール付) φ 100×0.8 m <sup>3</sup> /min×67m×18.5kw 1,800rpm (内予備 1 台)	2 台	
ポンプ井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W10.6m×L8.6m×有効 1.5m Ve=140 m <sup>3</sup>	1 池	
契約電力	低圧電力 22A・kw 力率 90% 従量電灯 B 15A・kw		
電気設備	コンプレッサー	1 台	
	加圧タンク 圧力水槽(横円筒型) φ 2.6m×L5.18m Ve=30.8 m <sup>3</sup> 最高使用圧力 6kg/c m <sup>2</sup> 銅板 16mm 鏡板 22mm	1 台	
	水位計	フロート液面発信機(FNF 型)	1 台
		デジタル指示警報計 0~5m	1 台
	配水圧力 デジタル指示警報計 0~10kg/c m <sup>2</sup>	1 台	
	直流電源装置	1 台	
エンジン	ディーゼルエンジン 4 サイクル水冷式	1 台	
	燃料タンク 350	1 台	

## (6)光ヶ丘送水ポンプ場

公称能力	1,584 m <sup>3</sup> /日	
経歴	昭和60年度 電気・計装改築工事 平成18年度 ポンプ取替工事(防振架台)	
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W5.1m×L5.7m=29 m <sup>2</sup>	1室
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ(防振架台) φ100×1.1 m <sup>3</sup> /min×5.5m×18.5kw 1,735rpm(内予備1台)	2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W5.7m×L5.1m×有効2.0m Ve=58.1 m <sup>3</sup>	1池
契約電力	低圧電力 21A・kw 力率90% 従量電灯B 20A・kw	
電気設備	配水流量計	1台
消毒設備	薬注ポンプ 薬液定量ポンプ 34cc/min 15MPa ストローク長 3m/m	2台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン φ500mm H=770mm Ve=100ℓ	2台

## (7)光ヶ丘配水池

公称能力	貯水量 1,000 m <sup>3</sup>	
経歴	昭和61年 竣工 平成17年度 緊急遮断弁オーバーホール	
配水池	PC造り(鉄筋コンクリート造) 内径φ16.0m×有効5.0m Ve=1,000 m <sup>3</sup>	1池
契約電力	従量電灯B 15A・kw	
電気設備	緊急遮断弁 マーキング型緊急遮断弁(分離型) 震度感知方式 口径φ200mm バタフライ形式 面間300mm 弁箱の肉厚13mm 右回し開き 使用最高圧力0.45MPa	1台
	水位計	1台

## (8)向井加圧ポンプ場

公称能力	720 m <sup>3</sup> /日		
経歴	昭和 51 年度 竣工 平成 17 年度 電気制御盤更新		
ポンプ室	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W4.55m×L7.45m=34 m <sup>2</sup>		1 室
加圧ポンプ	多段渦巻ポンプ φ 80×0.5 m <sup>3</sup> /min×65m×11kw 1,800rpm (内予備 1 台)		2 台
ポンプ井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W4.55m×L7.45m×有効 3.0m Ve=102 m <sup>3</sup>		1 池
契約電力	低圧電力 14A・kw 力率 80% 従量電灯 B 20A・kw		
電気設備	コンプレッサー POD-0.75LT 0.75kw3Φ 0.2~0.69MPa 65 r/min		1 台
	加圧タンク 圧力水槽(横円筒型) φ 1.9m×L4.6m Ve=14.3 m <sup>3</sup> 最高使用圧 5kg/c m <sup>2</sup> 銅板 12mm 鏡板 12mm		1 台
	水位計	フロート液面発信器	1 台
		水位指示計 0~4m	1 台
	直流電源装置		1 台
エンジン	ディーゼルエンジン 4 サイクル水冷式		1 台
	燃料タンク 100ℓ		1 台

## (9)大曾根浄水場

公称能力	720 m <sup>3</sup> /日		
経歴	昭和 51 年度 竣工		
ポンプ室	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W4.55m×L7.45m=33.9 m <sup>2</sup>		1 室
加圧ポンプ	多段渦巻ポンプ φ 80×0.5 m <sup>3</sup> /min×43m×7.5kw 1,730rpm (内予備 1 台)		2 台
ポンプ井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W4.5m×L6.0m×有効 3.0m=81 m <sup>3</sup> Ve=81 m <sup>3</sup> ×2 池=162 m <sup>3</sup>		2 池
契約電力	低圧電力 11A・kw 力率 80% 従量電灯 B 20A・kw		
電気設備	コンプレッサー SH-1 0.75kw 430rpm 9.9kg/c m <sup>2</sup>		1 台
	加圧タンク 圧力水槽(横円筒型) φ 2.0m×L4.6m Ve=16.2 m <sup>3</sup> 銅板 12mm 鏡板 12mm		1 台
	水位計 フロート液面発信機 DC4~20Ma PC24v 0~3m		1 台
	直流電源装置		1 台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 14.5ml/min 1.0MPa ストローク数 23s.p.m		1 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン φ 500mm H=770mm Ve=100ℓ		1 台
エンジン	ディーゼルエンジン 4 サイクル水冷式 燃料タンク付 15ℓ		1 台

## 2. 簡易水道

### (1) 須賀利浄水場

公称能力	297 m <sup>3</sup> /日		
経歴	昭和 56 年度 竣工 平成 17 年度 電波発信型水位計更新		
ホ <sup>ン</sup> フ <sup>ン</sup> 室	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=48 m <sup>2</sup>		1 室
加圧ホ <sup>ン</sup> フ <sup>ン</sup>	多段渦巻きホ <sup>ン</sup> フ <sup>ン</sup> φ 65×0.8 m <sup>3</sup> /min×72m×15kw 1,800rpm(内予備 1 台)		2 台
取水ホ <sup>ン</sup> フ <sup>ン</sup>	水中渦巻きホ <sup>ン</sup> フ <sup>ン</sup> φ 50×0.375 m <sup>3</sup> /min×15m×1.5kw 3,400rpm		4 台
ホ <sup>ン</sup> フ <sup>ン</sup> 井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W11.9m×L10.9m×有効 2.5m Ve=303 m <sup>3</sup>		1 池
取水井	RC 造り(鉄筋コンクリート造)	1 号井 内法 φ 3.0m×深さ 6.0m	1 井
		2 号井 内法 φ 1.2m×深さ 6.2m	1 井
契約電力	低圧電力 21A・kw 力率 90% 従量電灯 B 30A・kw		
電気設備	水位計 電波発信型水位計		1 台
	流量計 電磁流量計		1 台
	加圧タンク 圧力水槽(横置円筒型) 胴の最大内径 1.2m~1.6m 9.5kg/c m <sup>2</sup> 内容積 2.15 m <sup>3</sup>		1 台
	自動給水装置 最大 800ℓ /min 起動圧力選定範囲 5.1~6.8kg/m <sup>2</sup>		1 台
	自動通報装置		1 台
	直流電源装置		1 台
	テレメーター SAS55 子局		1 台
消毒設備	薬注ホ <sup>ン</sup> フ <sup>ン</sup> 定量注入ホ <sup>ン</sup> フ <sup>ン</sup> 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m		1 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1 台
自家発電設備	三相交流ディーゼル発電機 50KVA		1 台
	燃料タンク 200ℓ		1 台

### (2) 九鬼配水池

公称能力	495 m <sup>3</sup> /日		
経歴	昭和 57 年度 急速ろ過器設備 平成 19 年度 急速ろ過器自動逆洗化工事		
事業費	急速ろ過器 13,500,000 円		
ろ過器	急速ろ過器 RSF 型ろ過器 4 型 20 m <sup>3</sup> /h		1 台
配水池	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W13.7m×L3.4m×有効 3.0m=139.7 m <sup>3</sup> Ve=139.7 m <sup>3</sup> ×2 池=279.4 m <sup>3</sup>		2 池
契約電力	従量電灯 B 30A・kw		
電気設備	自動通報装置		1 台
	テレメーター SAS15 子局		1 台
消毒設備	薬注ホ <sup>ン</sup> フ <sup>ン</sup> 定量注入ホ <sup>ン</sup> フ <sup>ン</sup> 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m		1 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1 台

## (3)早田浄水場

公称能力	81 m <sup>3</sup> /日		
経歴	平成4年度 電気計装設備 平成17年度 水中型電磁流量計更新		
ろ過池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 緩速ろ過 W5.9m×L4.0m×H2.6m H2.6m内→ろ過砂0.8m 小砂0.1m 中砂0.1m 大砂0.15m 真空有孔レガ、空洞ブロック0.25m		2池
沈殿槽	RC造り(鉄筋コンクリート造) 普通沈殿池		2池
配水池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W4.0m×L3.5m×有効2.3m=32.2 m <sup>3</sup> Ve=32.2 m <sup>3</sup> ×2池=64.4 m <sup>3</sup>		2池
契約電力	従量電灯B 40A・kw		
電気設備	配水流量計	水中型電磁流量計	1台
		デジタル積算計	1台
	テレメーター SAS15 子局		1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m		1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1台

## (4)三木浦第1浄水場

公称能力	302 m <sup>3</sup> /日		
経歴	昭和56年度 竣工		
計装室 (滅菌室)	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=3.75m×2m=7.5 m <sup>2</sup>		1室
送水ポンプ	水中渦巻きポンプ φ80×1.1 m <sup>3</sup> /min×47m×15kw 3,600rpm (内予備1台)		2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造)		1池
契約電力	低圧電力 18A・kw 力率80% 従量電灯B 15A・kw		
電気設備	自動通報装置		1台
	テレメーター SAS15 子局		1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m		1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1台

## (5)三木浦第2浄水場

公称能力	302 m <sup>3</sup> /日	
経歴	昭和 63 年度 竣工 平成 19 年度 送水ポンプ 取替工事	
ポンプ室	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W9.0m×L5.5m=49.5 m <sup>2</sup>	1 室
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ φ 50×0.315 m <sup>3</sup> /min×72m×7.5kw 1,730rpm (内予備 1 台)	2 台
逆洗ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ 100×1.10 m <sup>3</sup> /min×19.5m×5.5kw 1,730rpm (内予備 1 台)	2 台
ポンプ井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.5m×L5.5m×有効 2.3m Ve=82.2 m <sup>3</sup>	1 池
契約電力	低圧電力 16A・kw 力率 90% 従量電灯 B 50A・kw	
ろ過器	横型凝集沈殿装置 10 m <sup>3</sup> /h	2 台
電気設備	SASIO テレメータテレコントロール装置 親局	1 台
	ろ過器 急速ろ過器 10 m <sup>3</sup> /h	2 台
	表面散乱形濁度計 W301+WA203+WLS30T	1 台
	無試薬遊離塩素計(パイプスタント形)ZXM	1 台
	流量計	1 台
	テレメータ SAS55 子局	1 台
消毒設備	次亜塩素素注入ポンプ 定量注入ポンプ	2 台
	PAC 注入ポンプ 定量注入ポンプ	2 台
	ソーダ灰注入ポンプ 定量注入ポンプ	2 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 YT-200	2 台
	PAC 貯槽 YT-200	2 台
	ソーダ灰貯槽 YT-200 攪拌機付 PG-1	2 台
自家発電設備	三相交流ディーゼル発電機 50KVA	1 台
	燃料タンク 200ℓ	1 台

## (6)三木浦配水池

公称能力	302 m <sup>3</sup> /日		
経歴	昭和 55 年度 竣工		
配水池	PC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 φ 10.9m×有効 5.2m Ve=450 m <sup>3</sup>	1 池	
契約電力	従量電灯 B 15A・kw		
電気設備	テレメータ・コントロール装置 SAS-10 子局	1 台	
	水位計	光ファイバー式投込液面/圧力発信機	1 台
		光ファイバー式電気変換機 PSN	1 台
	流量計		1 台

## (7)三木里浄水場

公称能力	643 m <sup>3</sup> /日		
経歴	昭和53年度 竣工 平成15年度 電気計装盤更新 平成18年度 濁度計・残塩計・流量計取付更新 平成20年度 非常用発電機取替工事		
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ (フライホイールカップリング付) φ80×0.45 m <sup>3</sup> /min×75m×15kw 1,800rpm(内予備1台)		2台
取水ポンプ	水中渦巻ポンプ φ80×0.5 m <sup>3</sup> /min×10m×5.5kw 3,600rpm(内予備1台)		2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.85m×L5.85m×有効2.6m Ve=104 m <sup>3</sup>		1池
契約電力	低圧電力 24A・kw 力率90% 従量電灯B 30A・kw		
電気設備	水位計	フロート液面発信機	1台
		現地式水位計	1台
	流量計	電磁流量計(水中形) φ150mm	1台
	自動通報装置		1台
	直流電源装置		1台
	残留塩素計	ポーラグラフ法 AC100V	1台
	濁度計	散乱光方式 AC100V	1台
	サンプリングポンプ	AC100V φ20mm	1台
	テレメーター SAS55 子局		1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m		1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1台
自家発電設備	三相交流ディーゼル発電機 74KVA		1台
	燃料タンク 200ℓ		1台

## (8)三木里配水池

公称能力	643 m <sup>3</sup> /日		
経歴	昭和53年度 竣工		
配水池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.8×L9.2m×有効3.0m=187.7 m <sup>3</sup> Ve=187.7 m <sup>3</sup> ×2池=375 m <sup>3</sup>		2池
電気設備	投込式 水位計		1台

## (9)賀田第1(北)浄水場

公称能力	1,000 m <sup>3</sup> /日	
経歴	平成7年度 送水ポンプ改修工事 平成12年度 電気盤更新	
ホンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W5.6m×L4.7m=26.3 m <sup>2</sup>	1室
送水ポンプ	多段渦巻きタービンポンプ φ100×1.0 m <sup>3</sup> /min×60m×18.5kw 1,800rpm (内予備1台)	2台
ホンプ井(井戸)	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法φ3.0m×深さ11.5m	1井
契約電力	低圧電力 40A・kw 力率80% 従量電灯B 20A・kw	
電気設備	流量計 電磁式 最大流量1,140 m <sup>3</sup> /h 過度流量11.4 m <sup>3</sup> /h	1台
	積算カント	1台
	直流電源装置	1台
	テレメーター SAS15 子局	1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m	1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン φ500mm H=770mm Ve=100ℓ	2台
エンジン	ディーゼルエンジン 4サイクル水冷直列	1台
	燃料タンク 60ℓ	1台
	予備タンク 90ℓ	1台

## (10)賀田第1(南)浄水場

公称能力	1,000 m <sup>3</sup> /日	
経歴	昭和57年度 竣工	
ホンプ室	平成17年度 送水ポンプ及び濁度計更新工事 RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W11.5m×L5m=57.5 m <sup>2</sup>	1室
送水ホンプ	多段渦巻ポンプ (フライホイール付) φ80×0.5 m <sup>3</sup> /min×87m×15kw 1,800rpm (内予備1台)	2台
逆洗ホンプ	片吸込渦巻きポンプ φ150×2.7 m <sup>3</sup> /min×17m×11kw (内予備1台)	2台
取水ホンプ	水中渦巻きポンプ φ80×1.5 m <sup>3</sup> /min×13m×5.5kw (内予備1台)	2台
ホンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.5m×L5.0m×有効2.0m Ve=65 m <sup>3</sup>	1池
契約電力	低圧電力 35A・kw 力率90% 従量電灯B 15A・kw	
ろ過器	小型凝集沈殿浄化装置 20 m <sup>3</sup> /h	2台
電気設備	濁度測定装置 表面散乱光測定方式	1台
	自動通報装置	1台
	濁度計	1台
	テレメーター SAS55 子局	1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m	1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ	1台

## (11)賀田第2加圧ポンプ場

公称能力	1,396 m <sup>3</sup> /日	
経歴	平成11年度 ポンプ改修工事 平成17年度 ポンプ改修工事	
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W13.5m×L13.5m=182.3 m <sup>2</sup>	1室
加圧ポンプ	多段渦巻きポンプ バランスディスク形 φ100×0.97 m <sup>3</sup> /min×60m×18.5kw 1,800rpm (内予備1台)	2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W5.4m×L5.4m×有効3.0m Ve=87.5 m <sup>3</sup> ×4池=350 m <sup>3</sup>	4池
契約電力	低圧電力 27A・kw 力率90% 従量電灯 B 20A・kw	
電気設備	加圧タンク 第二種圧力容器 φ2.7m×L6.5m Ve=37.2 m <sup>3</sup> 最高使用圧 7.1kg/c m <sup>2</sup> 最低使用圧 6.0kg/c m <sup>2</sup>	1台
	自動通報装置	1台
	直流電源装置	1台
	流量計	1台
	レレメーター SAS15 子局	1台
エンジン	ディーゼルエンジン	1台
	燃料タンク 90ℓ	1台

## (12)古江加圧ポンプ場

公称能力	1,000 m <sup>3</sup> /日	
経歴	平成14年度 ポンプ改修工事 平成20年度 電気計装盤取替工事	
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W13.5m×L6m=81 m <sup>2</sup>	1室
加圧ポンプ	多段渦巻きポンプ バランスディスク形 φ80×0.7 m <sup>3</sup> /min×63m×15kw 1,800rpm (内予備1台)	2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W12m×L6m×有効3.0m Ve=216 m <sup>3</sup>	1池
契約電力	低圧電力 21A・kw 力率90% 従量電灯 B 20A・kw	
電気設備	コンプレッサー 3.7kw オイルフリーヘビコン 0.93MPa 850rpm 405ℓ/min	1台
	加圧タンク 圧力容器(横円筒型) φ2.2m×L4.5m Ve=19.3 m <sup>3</sup> 9kg/c m <sup>2</sup> 胴板19mm 鏡板19mm	1台
	自動通報装置	1台
	直流電源装置	1台
	流量計	1台
	レレメーター SAS15 子局	1台
	投込式 水位計	1台
エンジン	ディーゼルエンジン 4サイクル水冷式	1台
	燃料タンク 90ℓ	1台

## (13)賀田配水池

公称能力	1,000 m <sup>3</sup> /日	
経歴	平成 18 年度 投込圧力式水位計更新	
配水池	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W9m×L5m×有効 2.75m=123.8 m <sup>3</sup> Ve=123.8×2 池=247.6 m <sup>3</sup>	2 池
電気設備	水位計 投込圧力式 DC4~20mA	1 台

## (14)曾根配水池

公称能力	84 m <sup>3</sup> /日	
経歴	昭和 29 年度 竣工	
配水池	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W7.3m×L6.0m×有効 2.3m=100.7 m <sup>3</sup>	1 池
契約電力	従量電灯 B 10A・kw(配水池施設) 低圧電力 3A・kw 力率 80%(加圧タンク施設)	
電気設備	加圧タンク φ40mm 2.2kw 0.2 m <sup>3</sup> /min タンク容量 0.5 m <sup>3</sup>	1 台
	加圧ポンプ φ40×0.22 m <sup>3</sup> /min×2.2kw ※加圧タンク及び加圧ポンプは配水池とは別の場所に設置	1 台
	流量計	1 台
	テレメーター SAS15 子局	1 台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m	1 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=2000	1 台

## (15)梶賀配水池

公称能力	152 m <sup>3</sup> /日	
経歴	昭和 35 年度 竣工	
沈殿槽	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W1.2m×L1.0×3.5m	1 池
配水池	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W5.0m×L3.0m×有効 H2.6m Ve=39 m <sup>3</sup>	1 池
契約電力	従量電灯 B 15A・kw	
電気設備	流量計 φ80	1 台
	φ40	1 台
	テレメーター SAS15 子局	1 台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m	1 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=2000	1 台